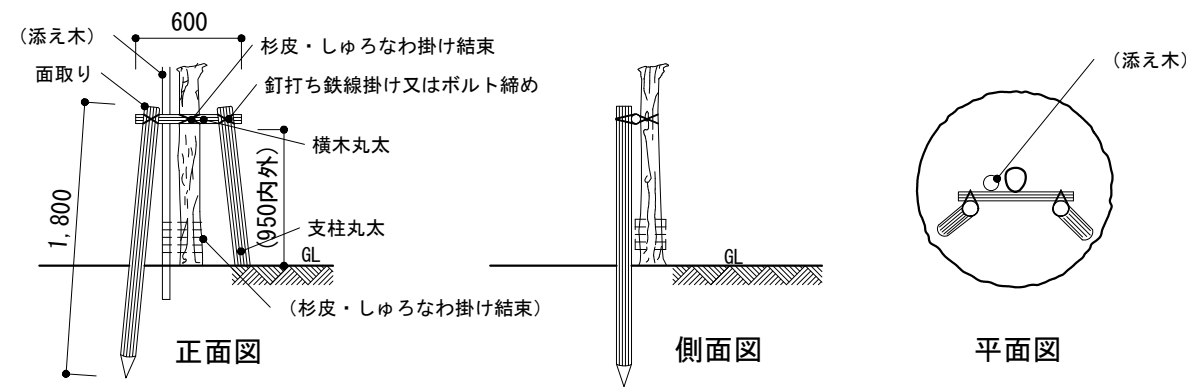
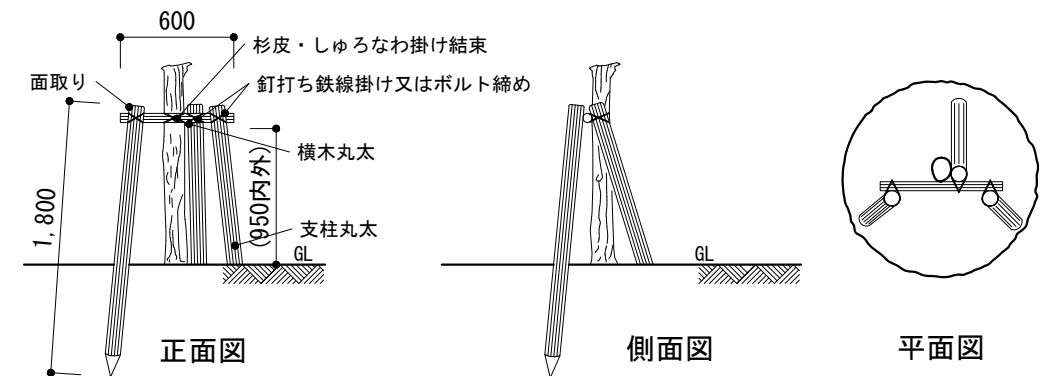


-1 二脚鳥居形(幹周10~39cm)

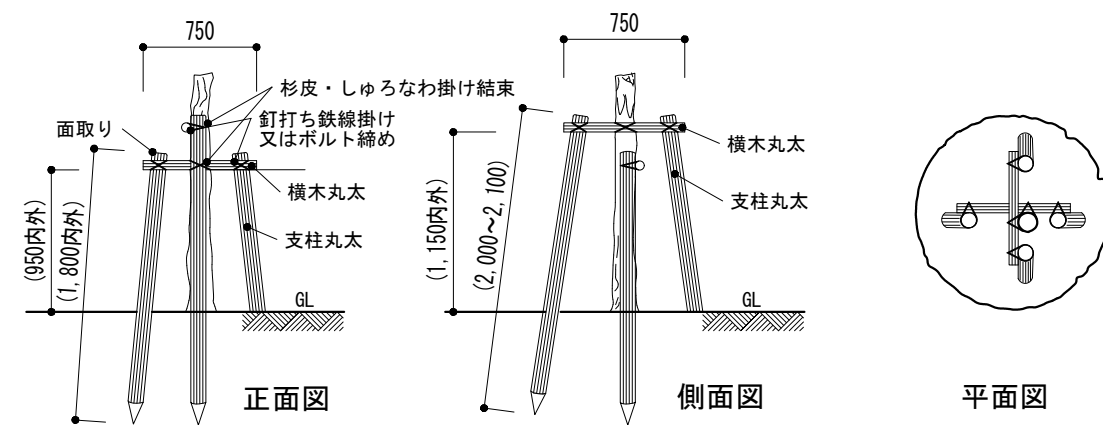


※ 幹周が10cm~20cmの場合は添え木付き
 幹周が20cm~29cmの場合は、樹木によって添え木の有無を判断する
 幹周が29cm~39cmの場合は添え木なし

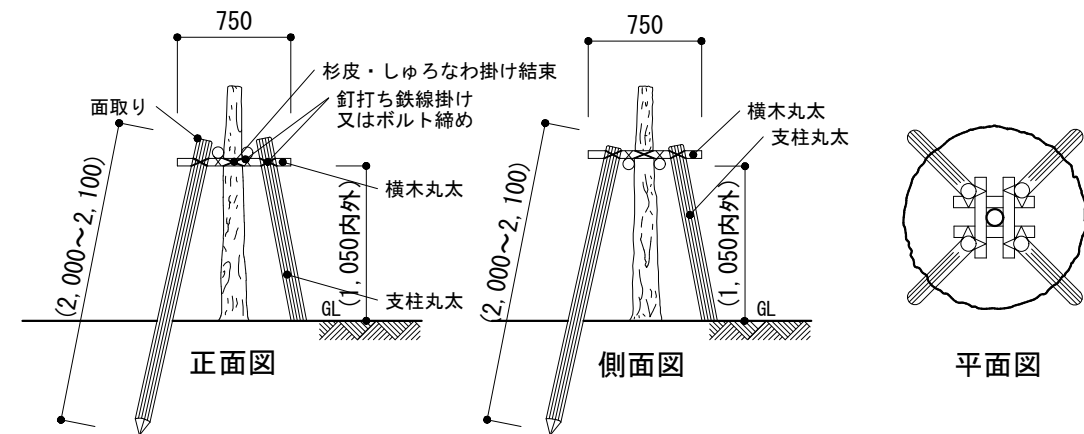
-2 三脚鳥居形(幹周30~49cm)



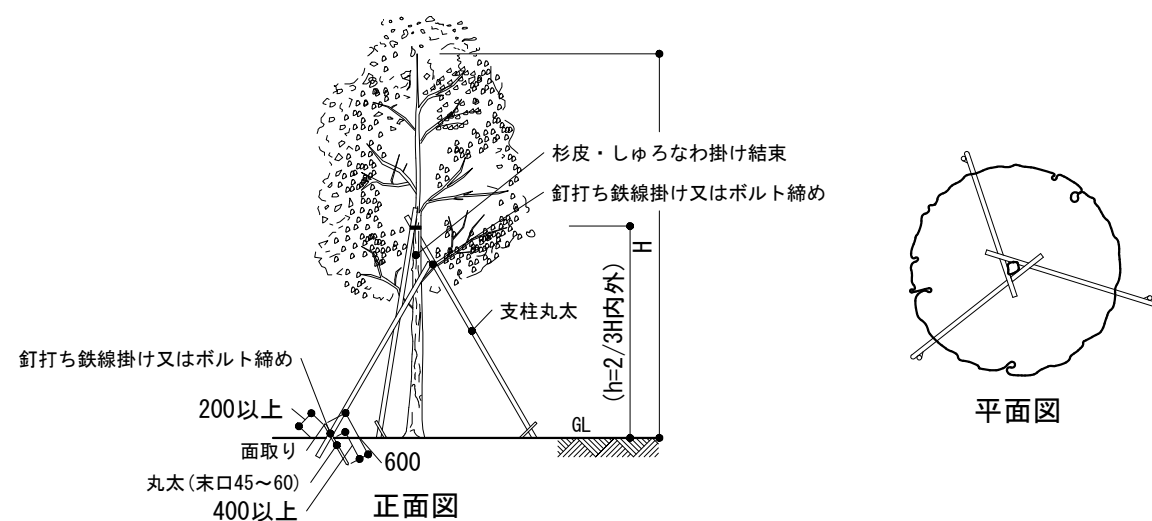
-3 十字鳥居形(幹周30~69cm)



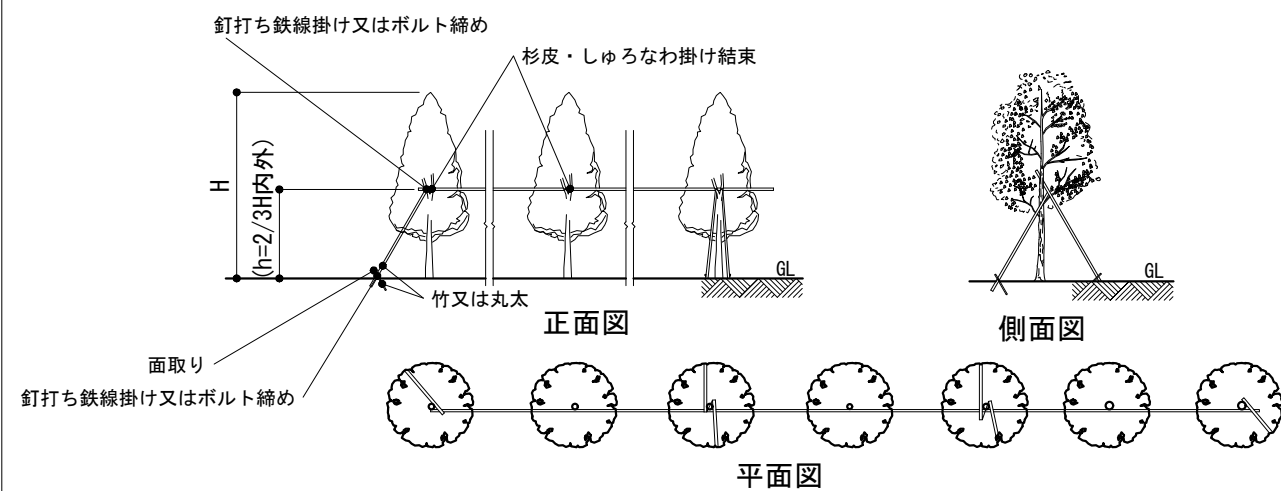
-4 二脚鳥居組合せ形(幹周50~89cm)



-5 ハッ掛け形(幹周10~119cm)



-6 布掛け形(幹周10~49cm)



仕様
 1) 支柱などの材料は、公共標仕(建)23.3.2(3)による。

特記事項
 1) -1の添え木の有無
 2) -1~-6の支柱同士の接合方法(釘打ち鉄線掛け又はボルト締め)
 3) -5, -6のH
 4) -6の支柱材料

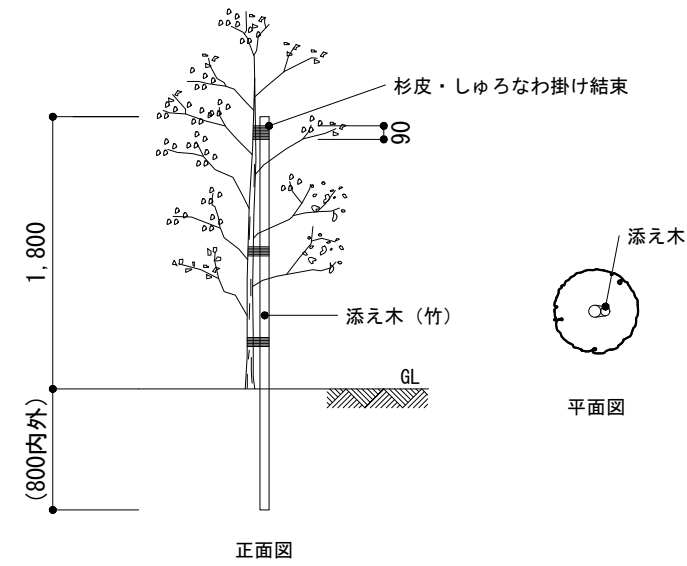
図面名称 植栽 : 支柱形式

縮尺

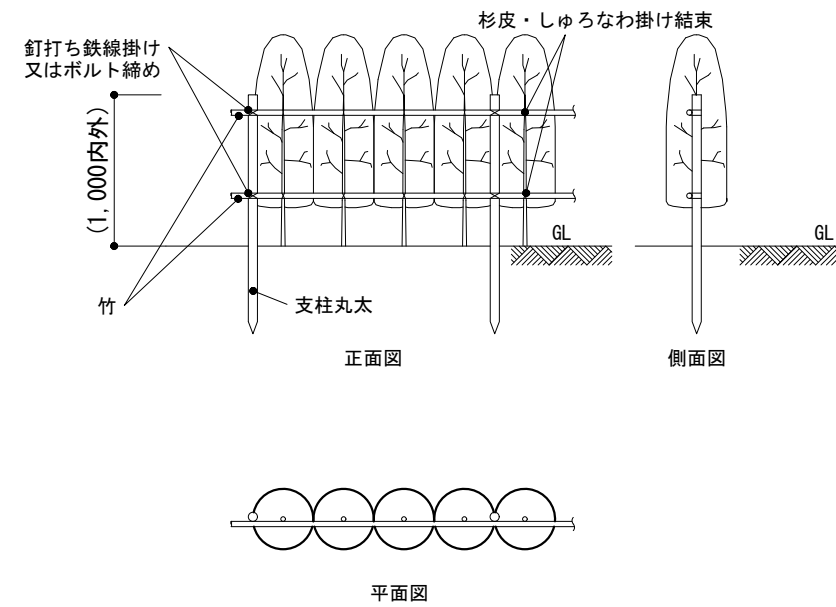
建築工事標準詳細図 令和4年版

9-01

-1 添え柱形(幹周10~14cm)



-2 生垣

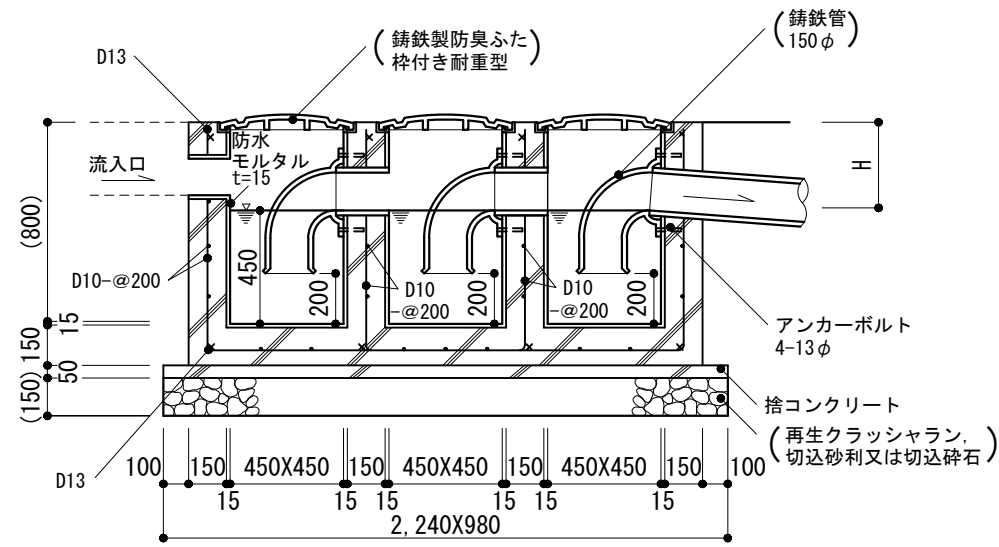


仕様 1) 支柱などの材料は、公共標仕(建)23.3.2(3)による。	特記事項 1) -2の支柱同士の接合方法 (釘打ち鉄線掛け又はボルト締め)		図面名称 植栽 : 支柱形式
			縮尺 —
			建築工事標準詳細図 令和4年版 9-02

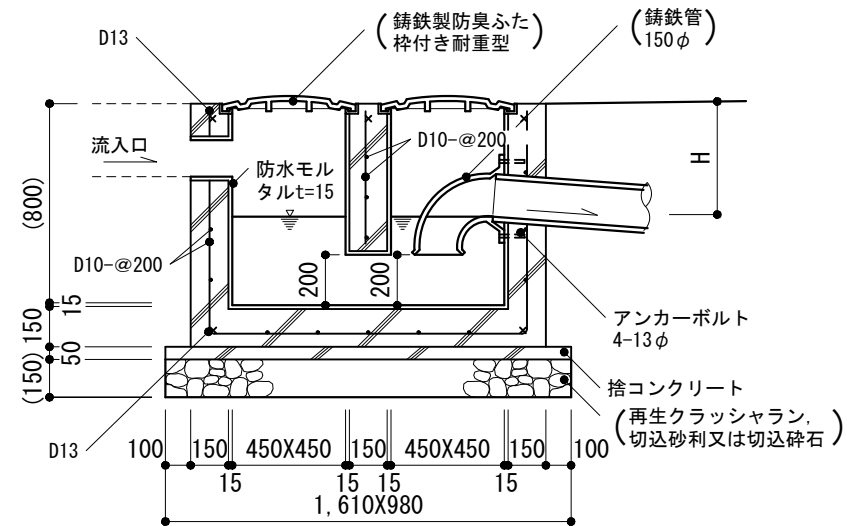
<p>-1 L形側溝</p>	<p>-2 L形側溝</p>	<p>-3 V形側溝</p>	<p>-4 街きよ</p>
<p>-5 縁石</p>	<p>-6 縁石</p>	<p>-7 縁石</p>	<p>-8 縁石</p>
<p>-9 縁石</p>	<p>-10 縁石</p>	<p>-11 縁石(雑割石)</p>	<p>-12 植樹柵用ブロック</p>

<p>仕様</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 地業材料は、原則として再生クラッシュランとする。 2) コンクリート縁石及び側溝は、公共標仕(建)21.3.1による。 	<p>特記事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) -11の石材の種別 2) 曲線ブロックの使用の有無 		<table border="1"> <tr> <td>図面名称</td> <td colspan="2">側溝, 街きよ, 縁石</td> </tr> <tr> <td>縮尺</td> <td>1/20</td> <td rowspan="2">9-11</td> </tr> <tr> <td colspan="2">建築工事標準詳細図 令和4年版</td> </tr> </table>	図面名称	側溝, 街きよ, 縁石		縮尺	1/20	9-11	建築工事標準詳細図 令和4年版	
図面名称	側溝, 街きよ, 縁石										
縮尺	1/20	9-11									
建築工事標準詳細図 令和4年版											

-1 ガソリントラップ柵



-2 ガソリントラップ柵



仕様

- 1) 鉄筋は、公共標仕(建)表5.2.1による。
- 2) 铸铁管は、JIS G 5525による。
- 3) 地業材料は、原則として再生クラッシュランとする。

特記事項

- 1) H
- 2) 排水管の材質

図面名称

ガソリントラップ柵

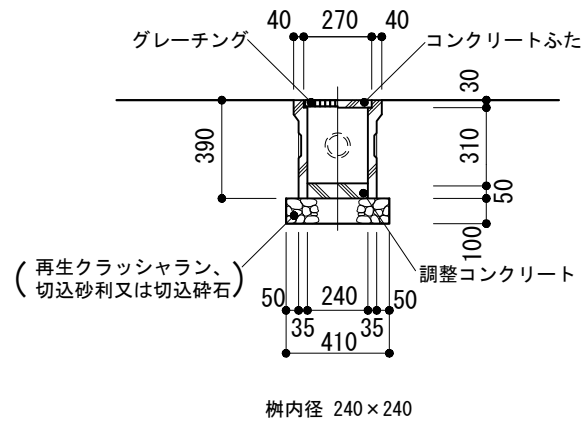
縮尺

1/30

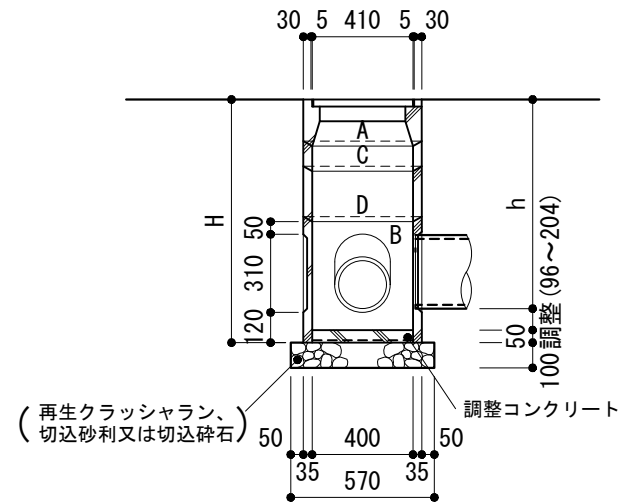
建築工事標準詳細図 令和4年版

9-13

-1 雨水樹

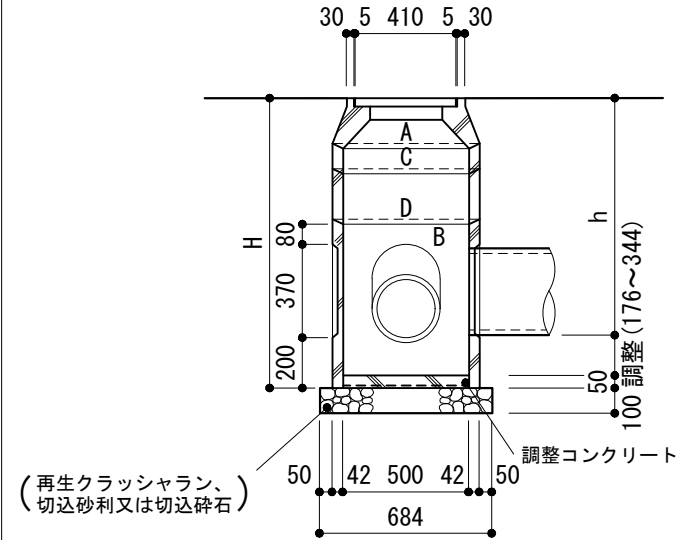


-2 雨水樹



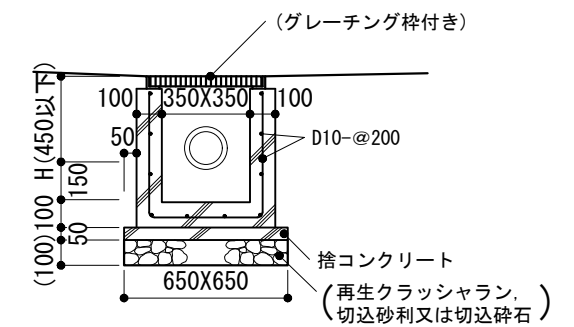
組合せ	H	h
A+B	680	426~534
A+B+C	780	526~634
A+B+D	880	626~734

-3 雨水樹

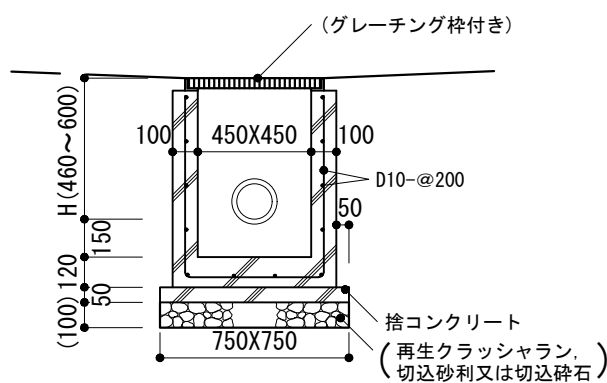


組合せ	H	h
A+B	850	456~624
A+B+C	950	556~724
A+B+D	1,050	656~824
A+B+C+D	1,150	756~924
A+B+2D	1,250	856~1,024

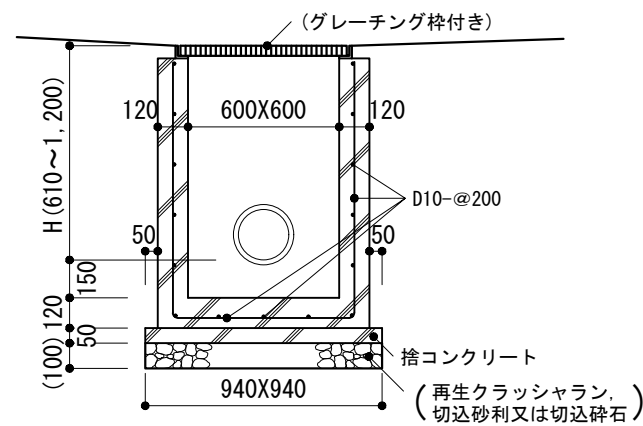
-4 集水樹(現場打ち)



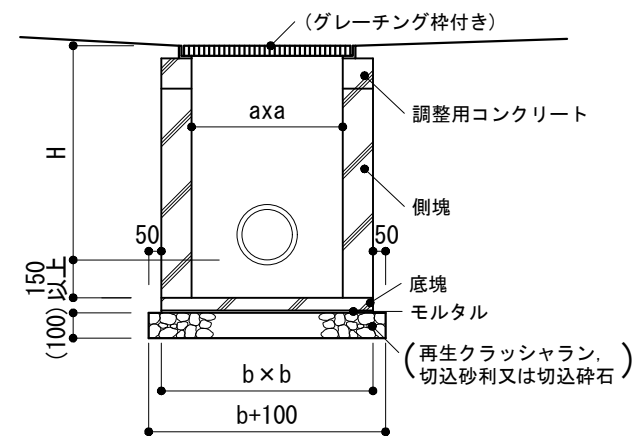
-5 集水樹(現場打ち)



-6 集水樹(現場打ち)



-7 集水樹(プレキャスト)



呼び名	a	b
360 側塊	360	460
450 側塊	450	570
500 側塊	500	620
600 側塊	600	720

仕様

- 2, -3が集水樹の場合、有孔ふたとする。
- 地業材料は、原則として再生クラッシュランとする。

特記事項

- 1のふたの種類及びグレーチングの種類
- 7の寸法の呼び名
- 2, -3のh, H及び樹を集水樹とする場合
- 4~-7のH及びグレーチングの種類

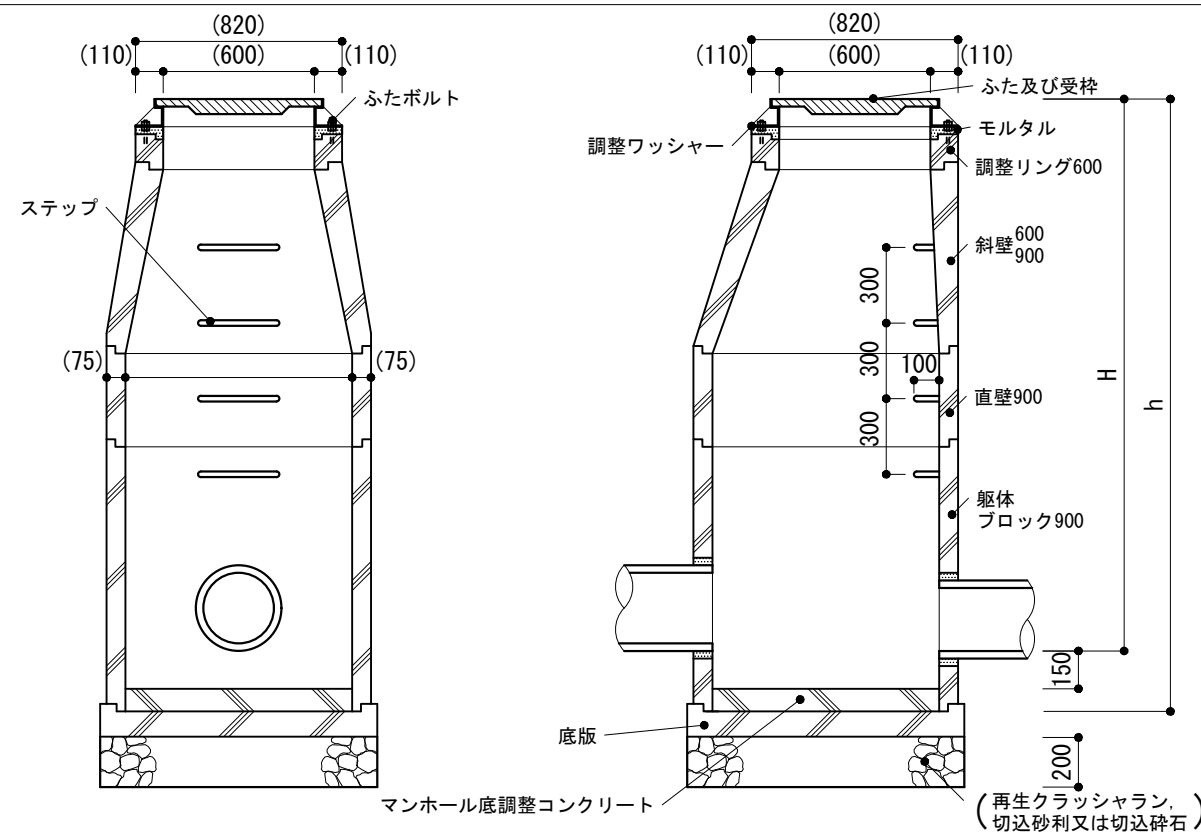
図面名称 雨水樹, 集水樹

縮尺 1/30

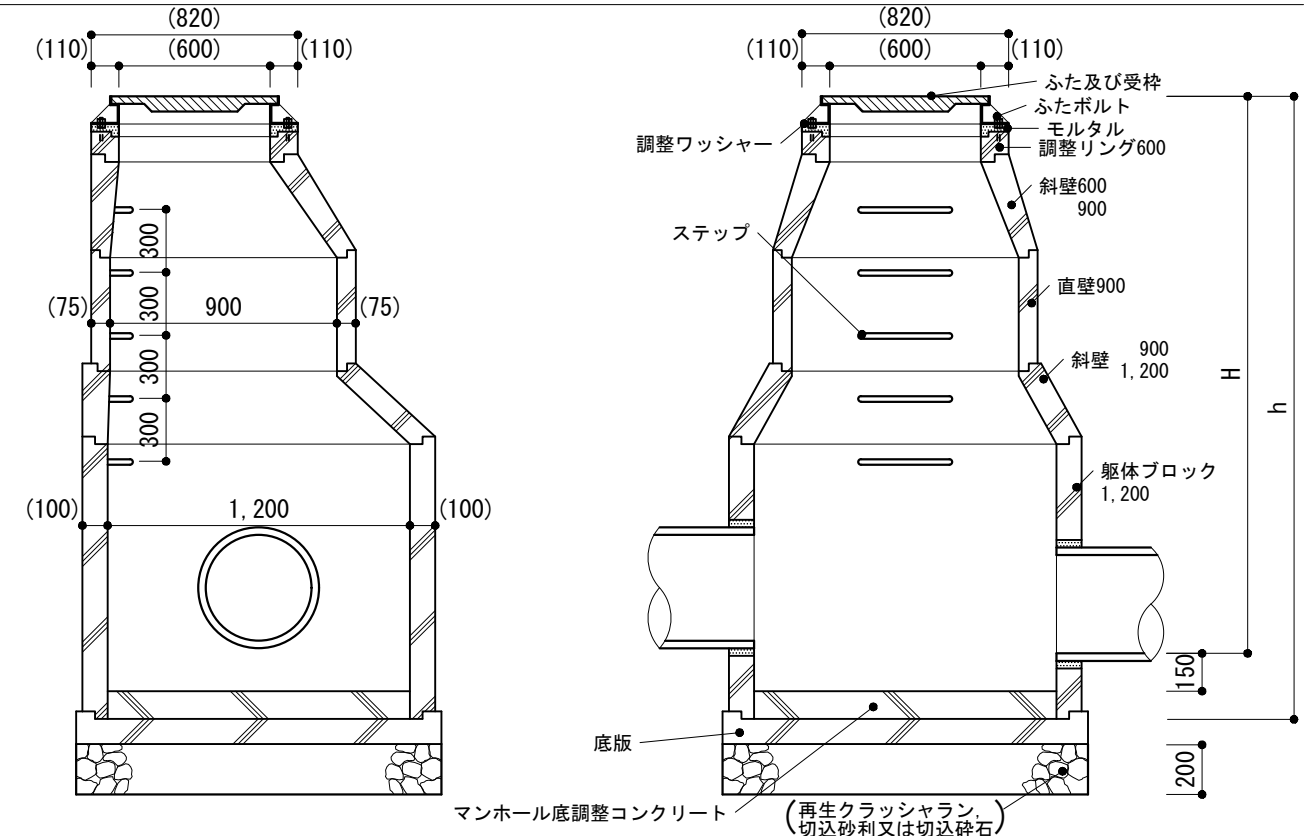
建築工事標準詳細図 令和4年版

9-14

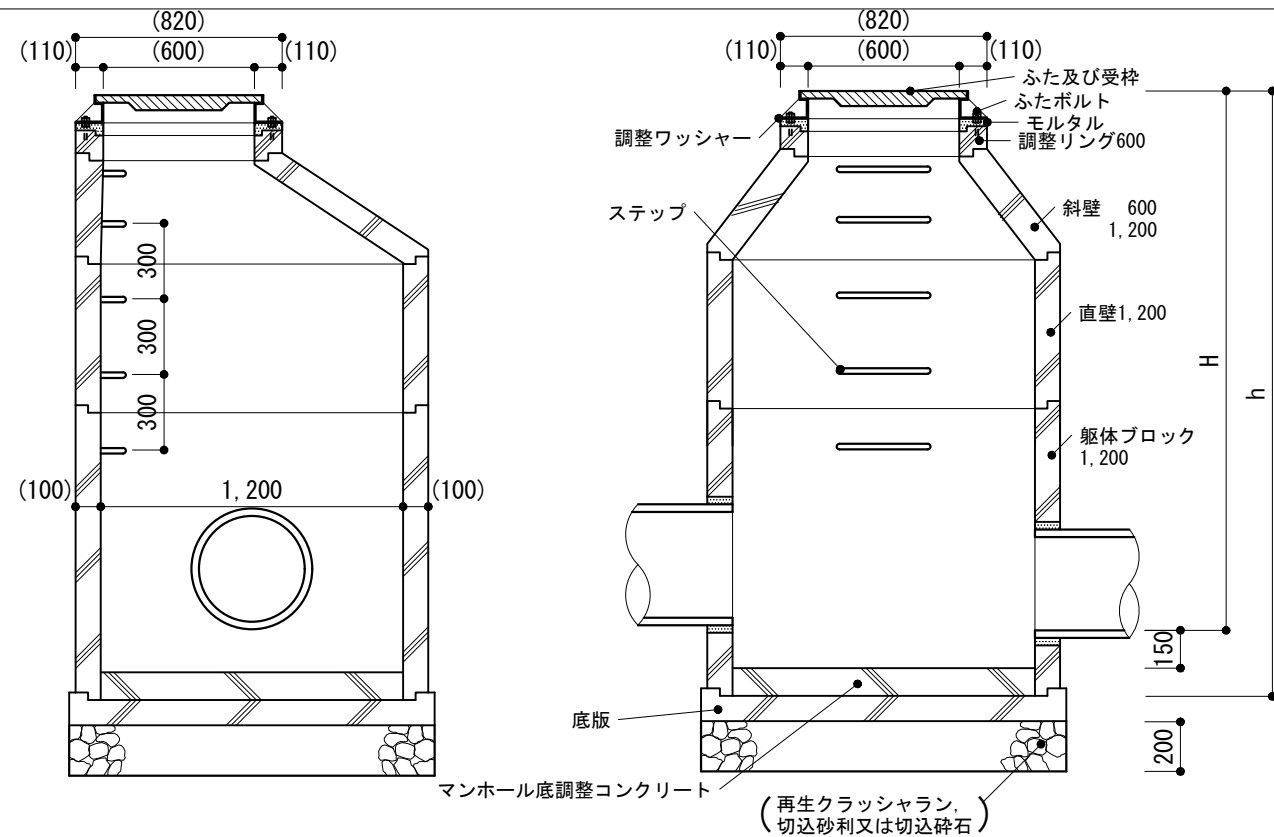
-1 雨水マンホール(組立て)



-2 雨水マンホール(組立て)



-3 雨水マンホール(組立て)

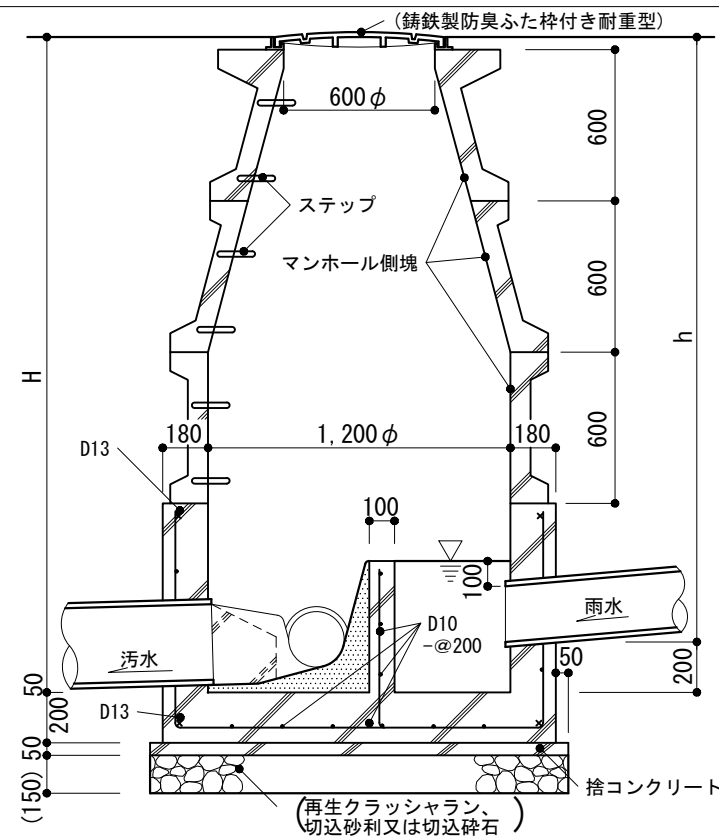


仕様
1) 接合部及び底版は(公社)日本下水道協会認定資器材Ⅱ類による。
2) 地業材料は、原則として再生クラッシュランとする。
3) ステップはステンレスSUS304, 22φ, 幅300とする。

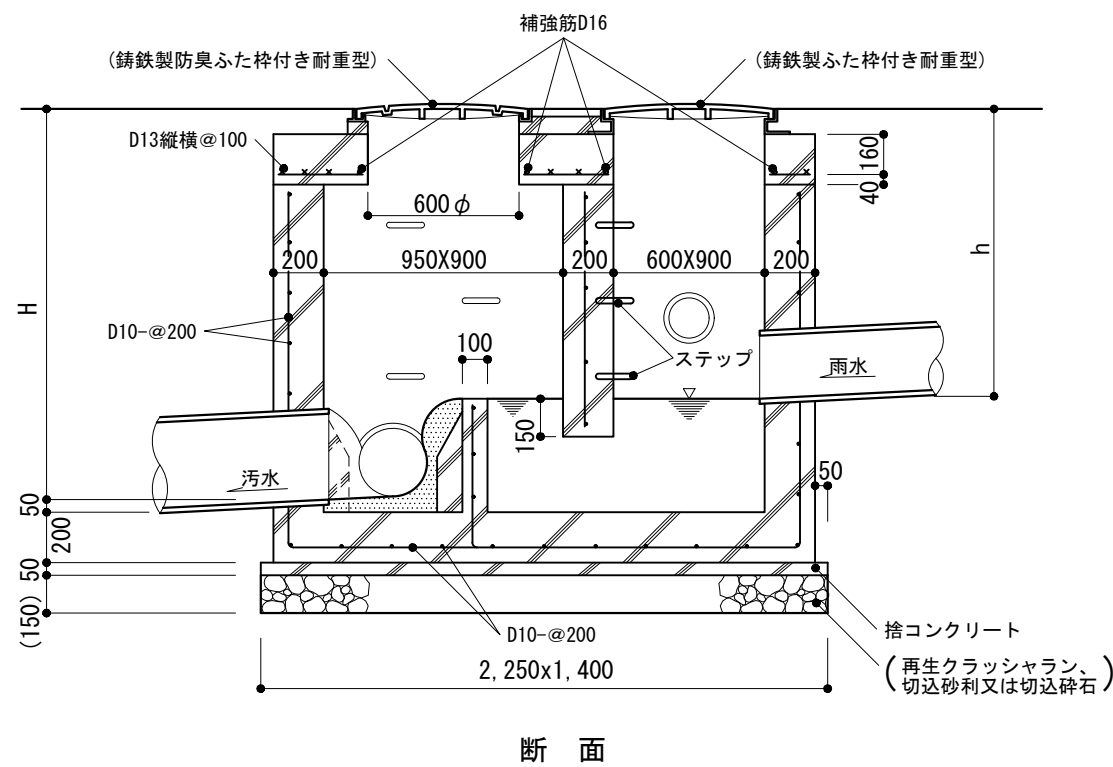
特記事項
1) -1, -2, -3のh, H及びふたの種別
2) ステップの段数

図面名称	雨水マンホール	
縮尺	1/30	9-15
建築工事標準詳細図 令和4年版		

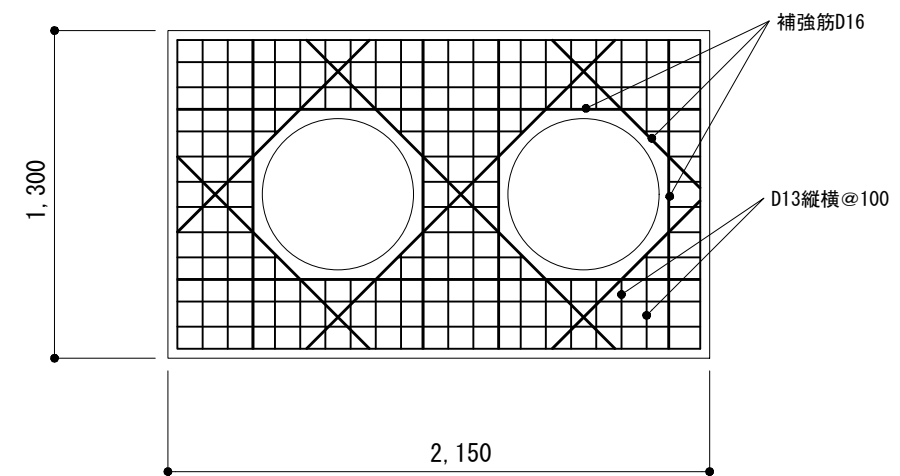
-3 トラップマンホール



-4 トラップマンホール



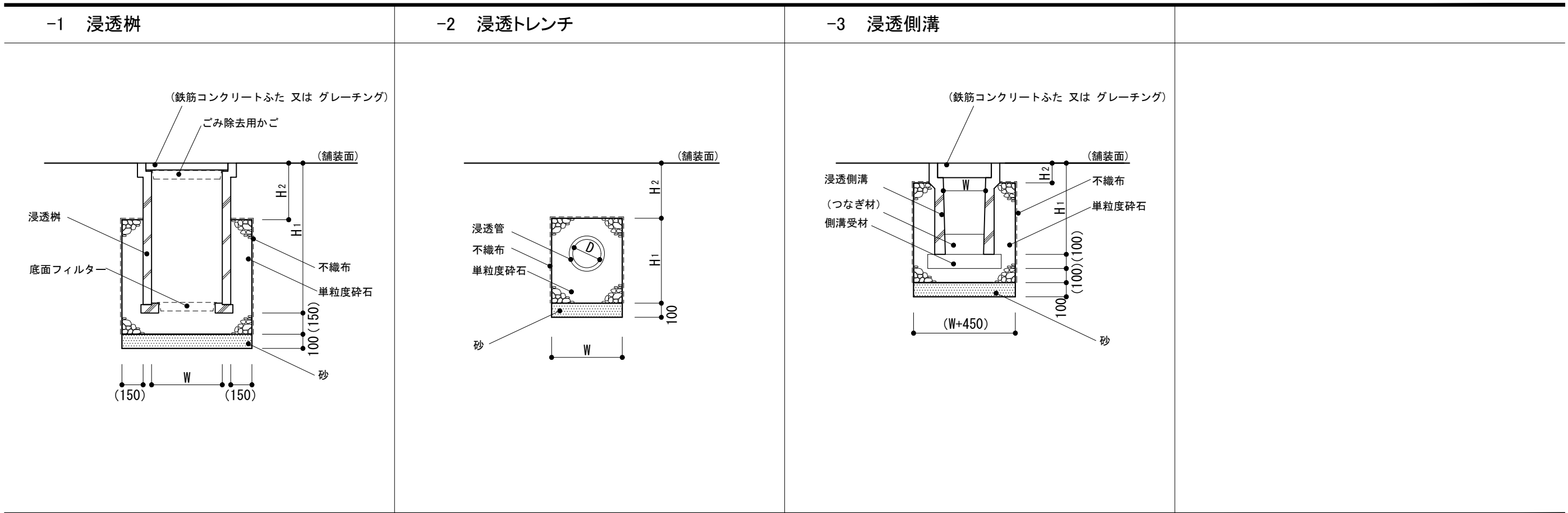
断面



開口補強配筋

※ -1・-2は欠番

仕様 1) 铸铁管は, JIS G 5525による。 2) 地業材料は, 原則として再生クラッシュランとする。 3) ステップはステンレスSUS304, 22φ, 幅300とする。	特記事項 1) 铸铁製防臭ふた及び铸铁製耐重型ふたの種別 2) H, h 3) ステップの段数	図面名称 トラップマンホール	
		縮尺 1/30	9-16
		建築工事標準詳細図 令和4年版	



<p>仕様</p> <p>1) 浸透柵, 浸透トレンチ, 浸透側溝は製造所の仕様による。</p>	<p>特記事項</p> <p>1) -1, -3のW, H₁, H₂</p> <p>2) -2のW, H₁, H₂, D</p> <p>3) -1の浸透柵, -2の浸透管, -3の浸透側溝の種類</p> <p>4) -1のゴミ除去用かごの材質</p> <p>5) -1, -3のふたの種類</p> <p>6) 単粒度碎石の粒度</p> <p>7) -3の側溝受材の寸法及び設置間隔</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">図面名称</td> <td colspan="2">浸透施設</td> </tr> <tr> <td>縮尺</td> <td>1/30</td> <td rowspan="2" style="font-size: 2em; text-align: center; vertical-align: middle;">9-17</td> </tr> <tr> <td colspan="2">建築工事標準詳細図 令和4年版</td> </tr> </table>	図面名称	浸透施設		縮尺	1/30	9-17	建築工事標準詳細図 令和4年版	
図面名称	浸透施設									
縮尺	1/30	9-17								
建築工事標準詳細図 令和4年版										

<p align="center">-1 アスファルト舗装</p> <p>注) 路盤はT A法による構造設計による。 (T(mm) : 150, 200, 250 を設定する。)</p>	<p align="center">-2 コンクリート舗装又はカラーコンクリート舗装(常温系)</p> <p>注) ()の寸法: 大型車の通行が見込まれる場合</p>	<p align="center">-3 半たわみ性舗装</p> <p>注) 路盤はT A法による構造設計による。 (T(mm) : 100, 150 を設定する。)</p>
<p align="center">-4 インターロッキングブロック舗装</p> <p>注) 路盤はT A法による構造設計による。 (T(mm) : 100, 150 を設定する。)</p>	<p align="center">-5・-6 カラーアスファルト舗装</p>	
<p align="center">-5 加熱系 (アスファルト混合物又は石油樹脂系混合物)</p> <p>注) 路盤はT A法による構造設計による。 (T(mm) : 150, 200, 250 を設定する。)</p>	<p align="center">-6 常温系 (ニート工法又は塗布工法)</p> <p>注) 路盤はT A法による構造設計による。 (T(mm) : 150, 200, 250 を設定する。)</p>	<p align="center">コンクリート舗装の目地の構造</p>

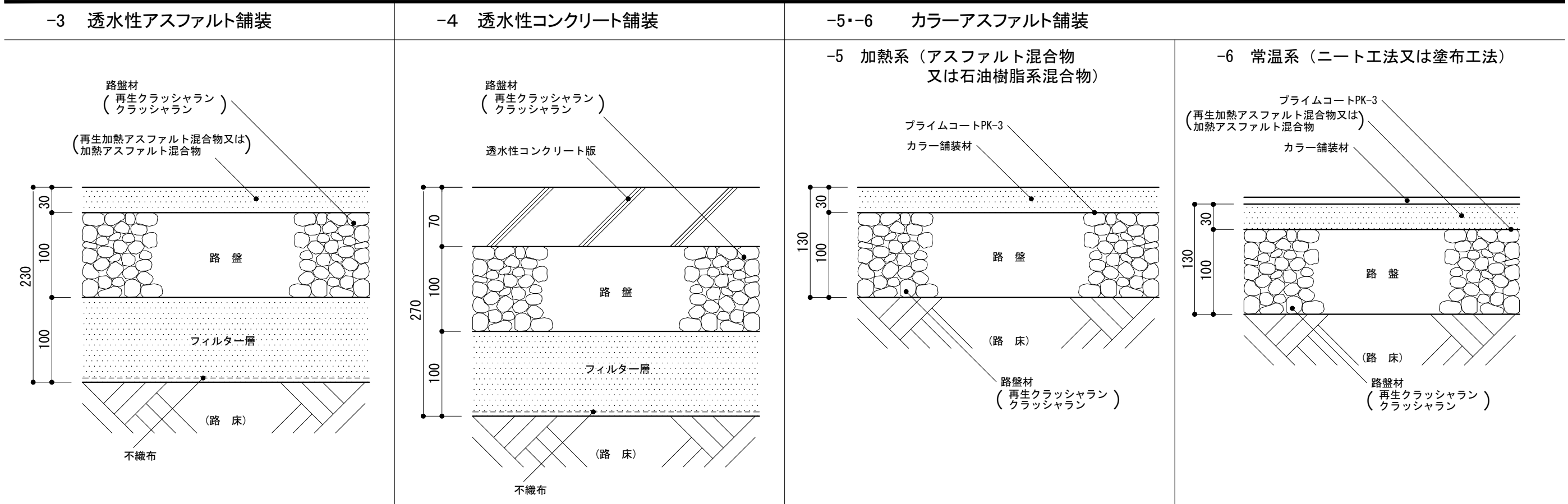
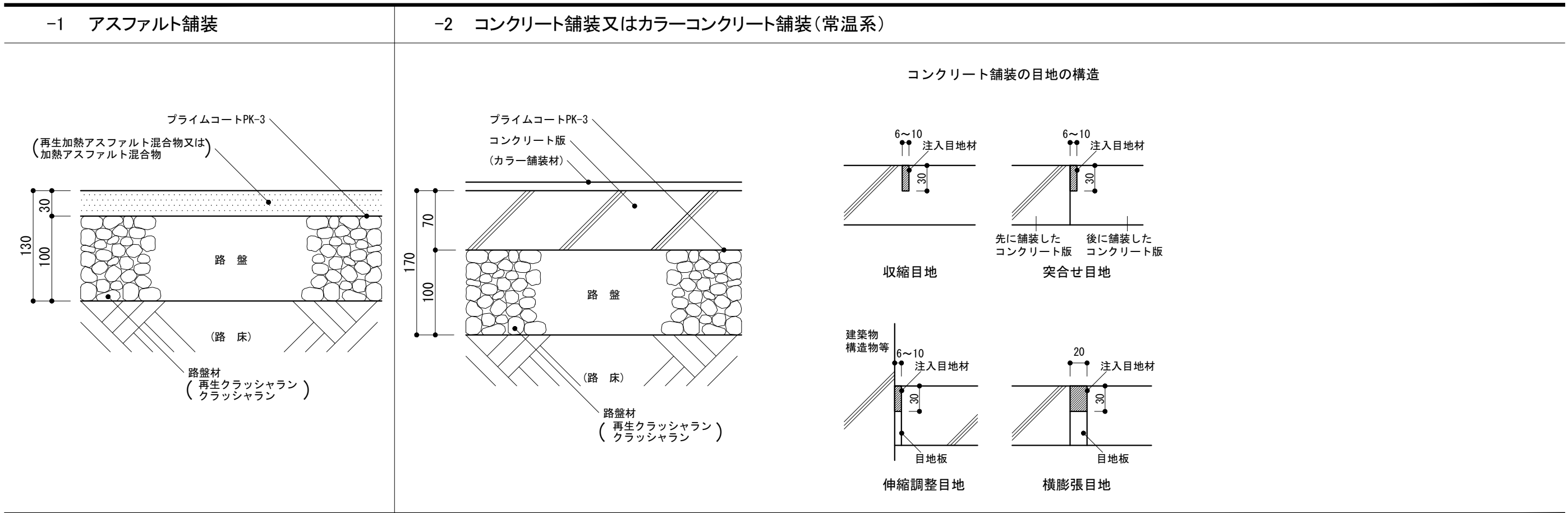
仕様

- 2のコンクリート舗装においては公共標仕(建)22.5.4(5)により目地を設ける。
- インターロッキングブロック舗装の目地には砂を充填する。

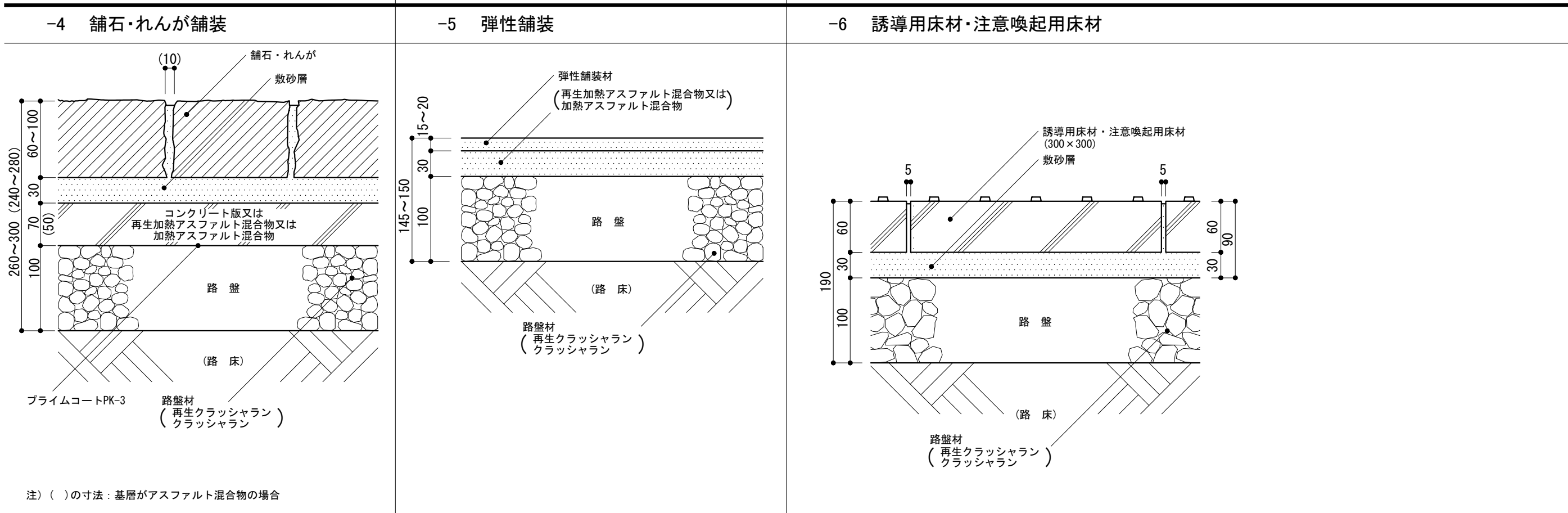
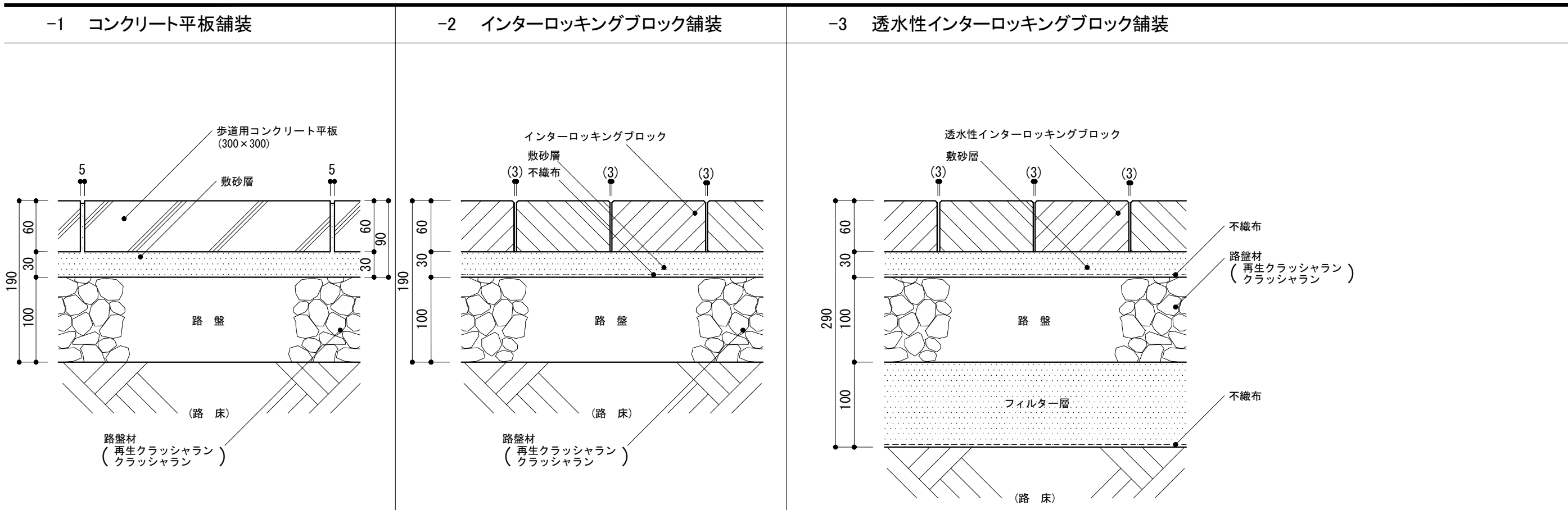
特記事項

- 凍上抑制層のある場合の材種及び厚さ
- 1, -3, -5, -6のアスファルト混合物の種類
- 路盤材料の種類及び厚さT
- 2のコンクリート舗装の注入目地材の種類
- 4のインターロッキングブロックの種類及び敷設パターン
- 2, -5, -6のカラー舗装材の種類と使用量
- 敷砂層の種類

図面名称	構内舗装断面 : 車道部	
縮尺	1/10	9-21
建築工事標準詳細図 令和4年版		



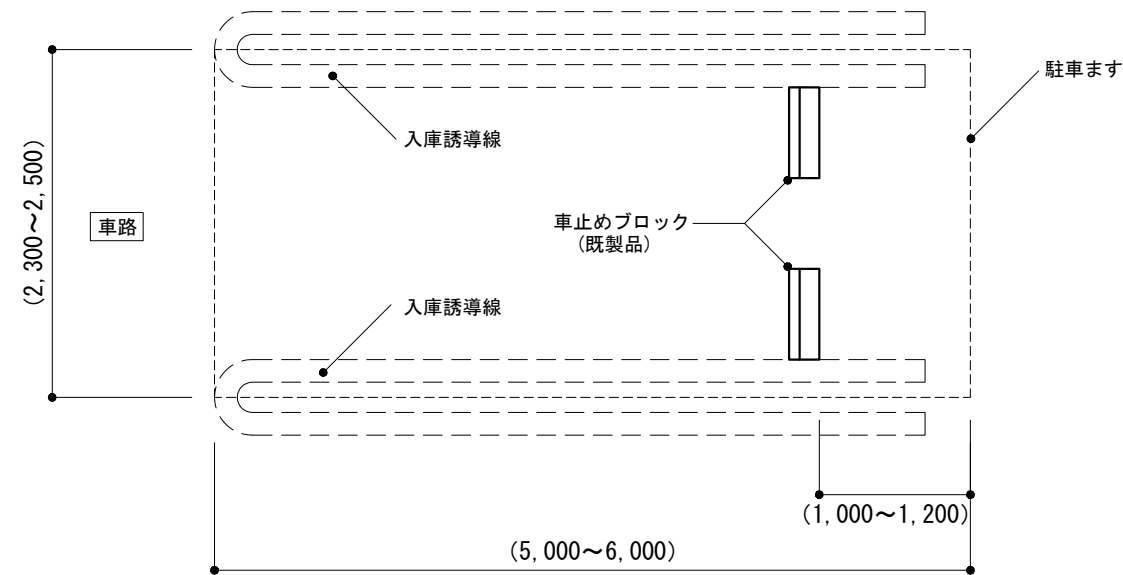
<p>仕様</p> <p>1) -2のコンクリート舗装においては公共標仕(建) 22.5.4(5)により目地を設ける。</p>	<p>特記事項</p> <p>1) 凍上抑制層及びフィルター層のある場合の材種及び厚さ 2) -1, -3, -5, -6のアスファルト混合物の種類 3) -2のコンクリート舗装の注入目地材の種別 4) -2, -5, -6のカラー舗装材の種類, 使用量 5) 路盤材料の種類</p>	<p>図面名称</p> <p>構内舗装断面 : 歩道部</p>	<p>縮尺</p> <p>1/5</p>
<p>建築工事標準詳細図 令和4年版</p>		<h1 style="font-size: 48px; margin: 0;">9-22</h1>	



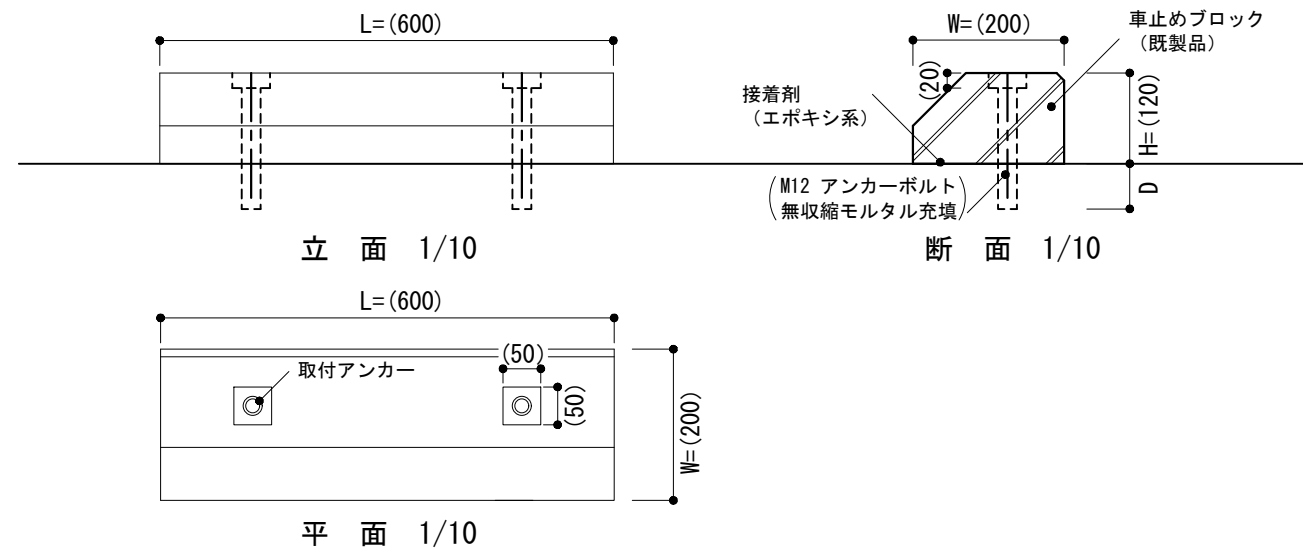
注) ()の寸法：基層がアスファルト混合物の場合

仕様 1) インターロッキングブロック舗装の目地には砂を充填する。 2) -4でコンクリート版の場合は、公共標仕(建)22.5.4(5)により目地を設ける。 3) 誘導用床材・注意喚起用床材のブロックパターンは、JIS T 9251による。	特記事項 1) 凍上抑制層及びフィルター層のある場合の材種及び厚さ 2) -1~-3の敷砂層の種類 3) -2のインターロッキングブロックの種類、-3の透水性インターロッキングブロックの種類 4) -4の舗石・れんがの種類 5) -4で基層がアスファルト混合物の場合のアスファルト混合物の種類 6) -5のアスファルト混合物の種類 7) -5の弾性舗装材の種類と使用量 8) -6の誘導用床材・注意喚起用床材の材種及び厚さ	図面名称 構内舗装断面：歩道部
		縮尺 1/5
		9-23

-1 車止め

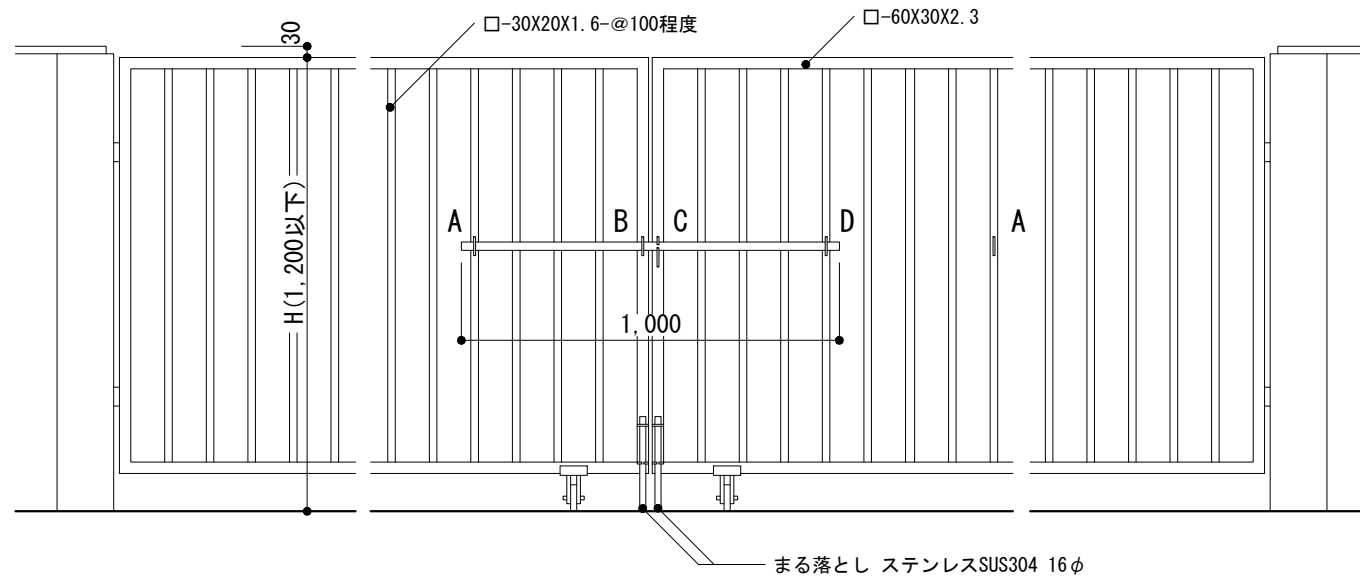


駐車場 標準平面 1/50

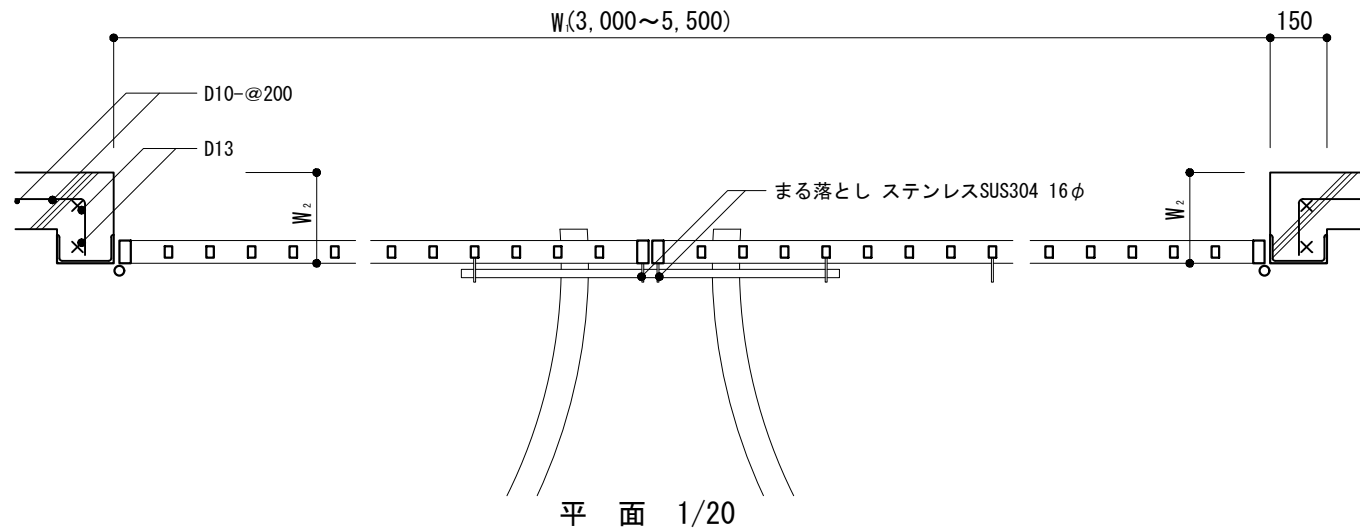


仕様 1) 駐車ます()内寸法は、駐車場法に該当する普通乗用車用を示す。 2) 舗装面へのアンカー等の取付けは製造所の仕様による。	特記事項 1) L, W, H, D 2) 駐車ます寸法	図面名称 駐車場:車止め	
		縮尺 1/10,1/50	9-25
		建築工事標準詳細図 令和4年版	

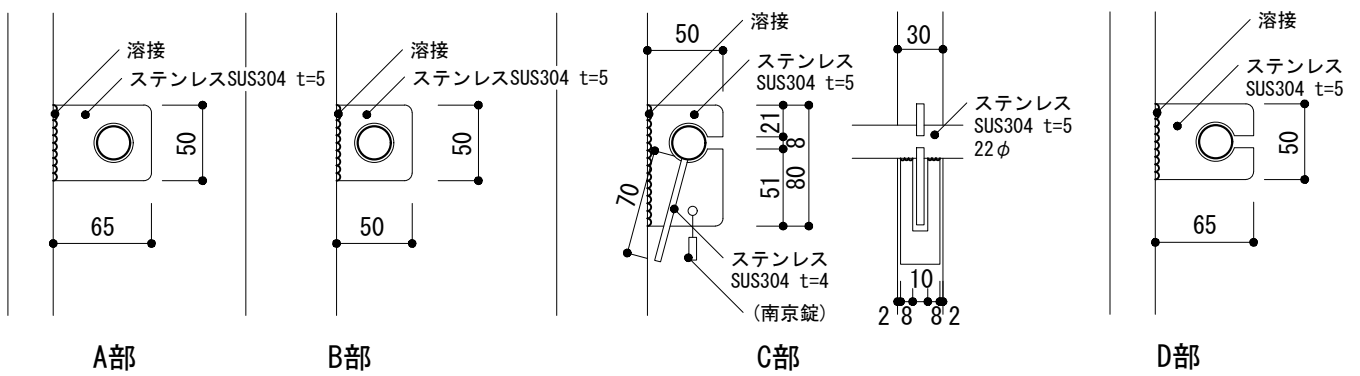
-1 両開き戸



立面 1/20

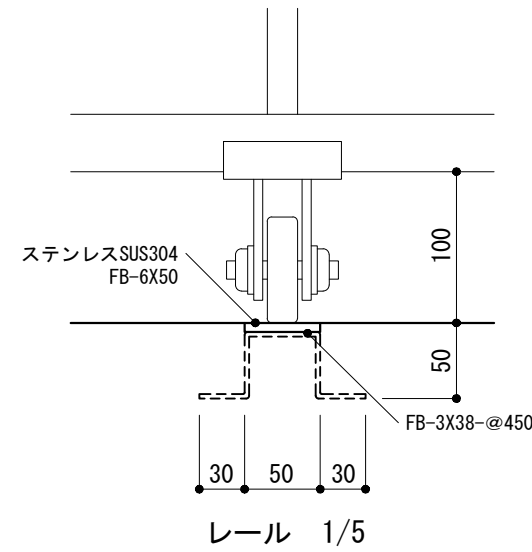


平面 1/20

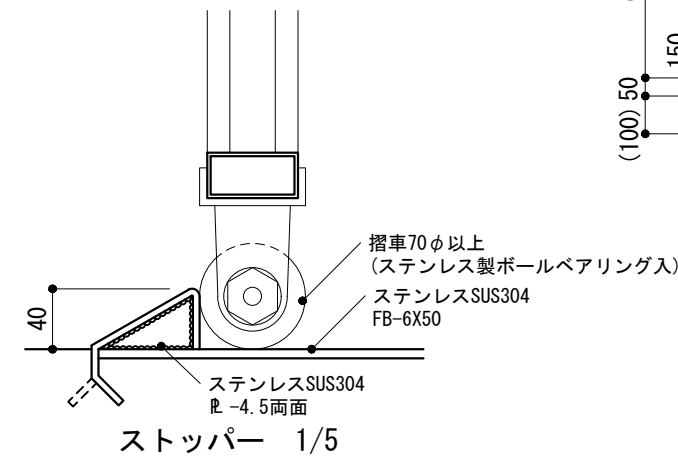


かんぬき取合い 1/5

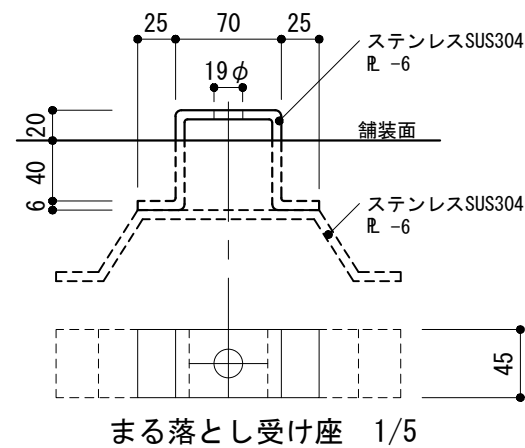
-2 門柱



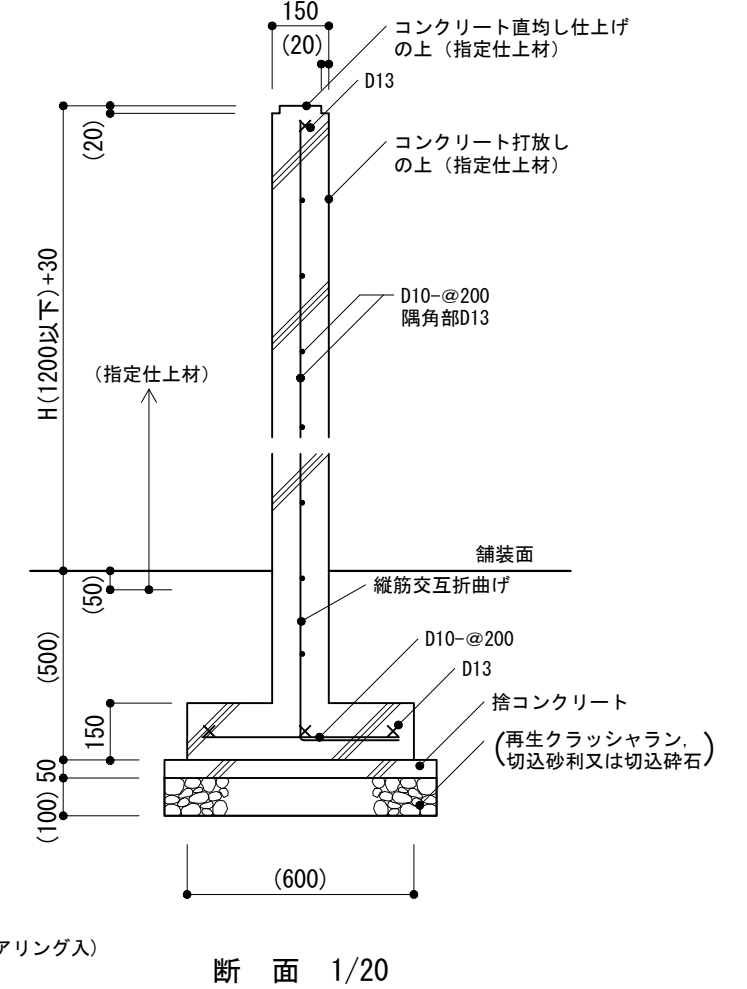
レール 1/5



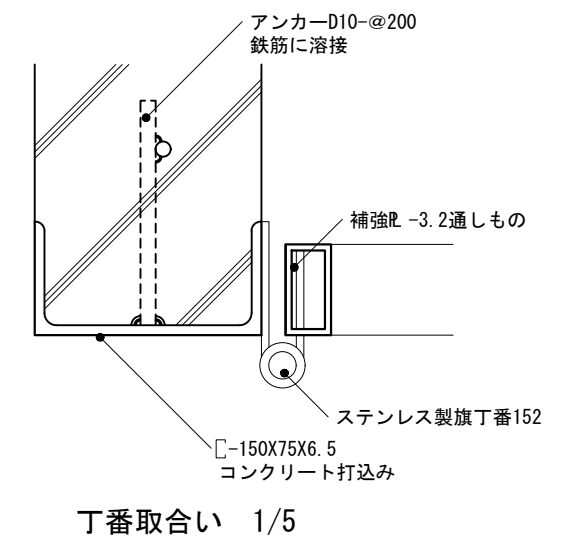
ストップパー 1/5



まる落とし受け座 1/5



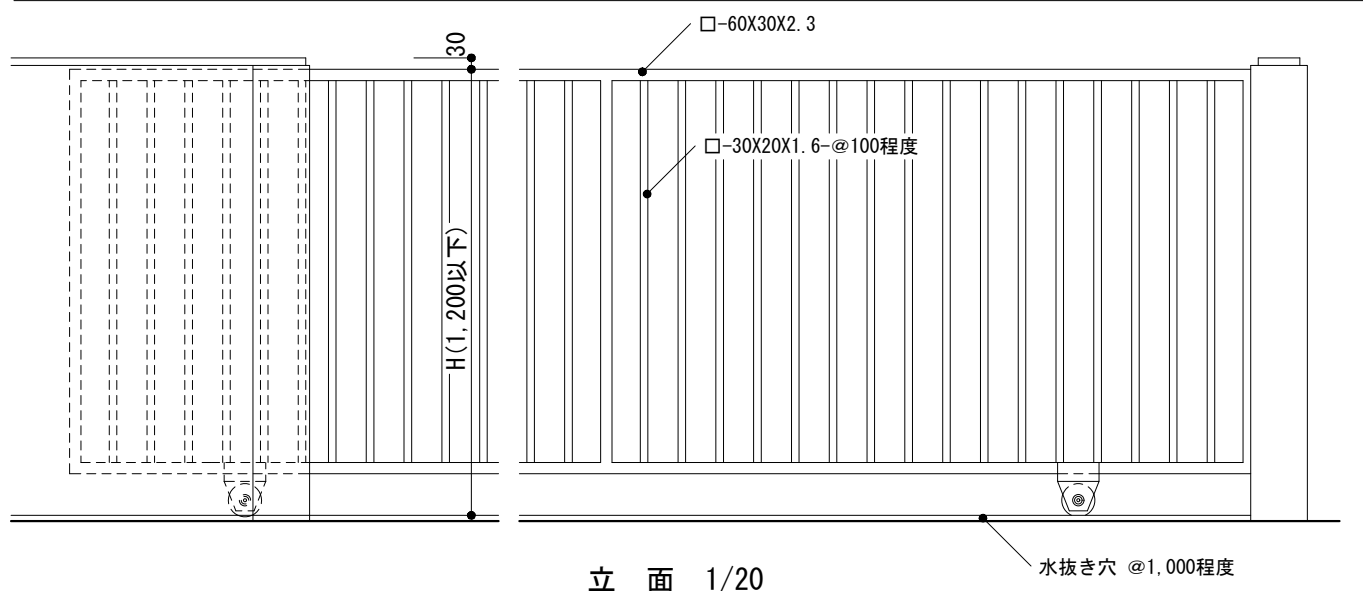
断面 1/20



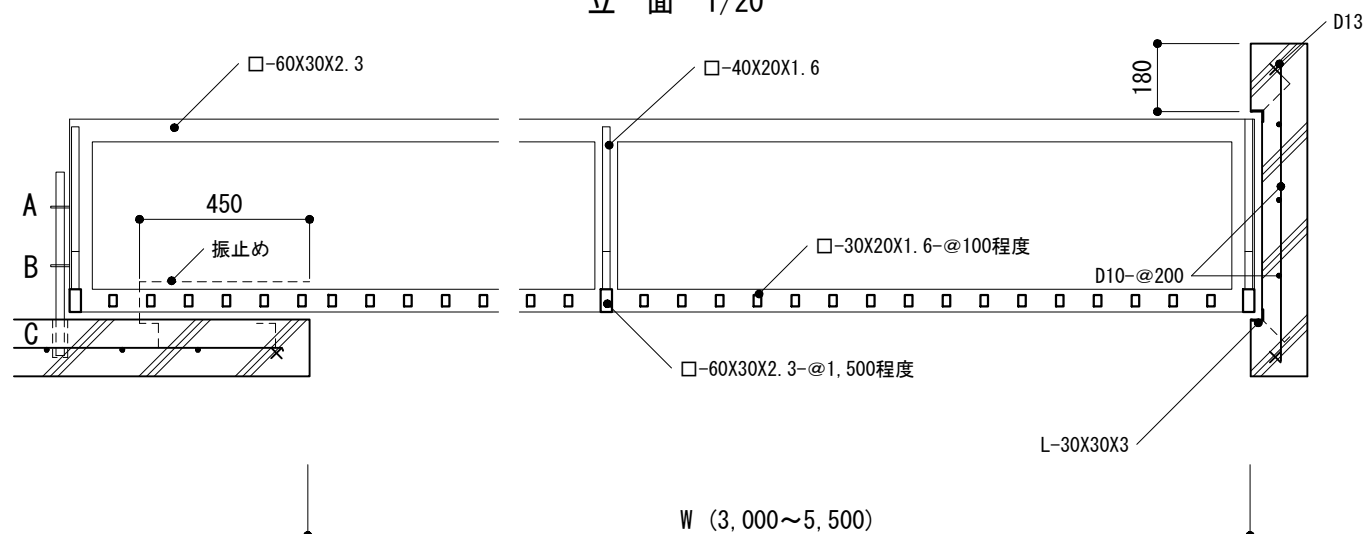
丁番取合い 1/5

<p>仕様</p> <p>1) 見えがかり鉄面は、SOP塗りとする。</p> <p>2) レールは、FB-6.0×50のかわりにL-40×40×5を使用してもよい。</p>	<p>特記事項</p> <p>1) H, W₁, W₂</p> <p>2) コンクリート打放しの種別</p> <p>3) 溶融亜鉛めっきをする場合、その種別</p> <p>4) 指定仕上材の種類</p>	図面名称	門 : 両開き戸	
		縮尺	1/5, 1/20	
		建築工事標準詳細図 令和4年版	9-31	

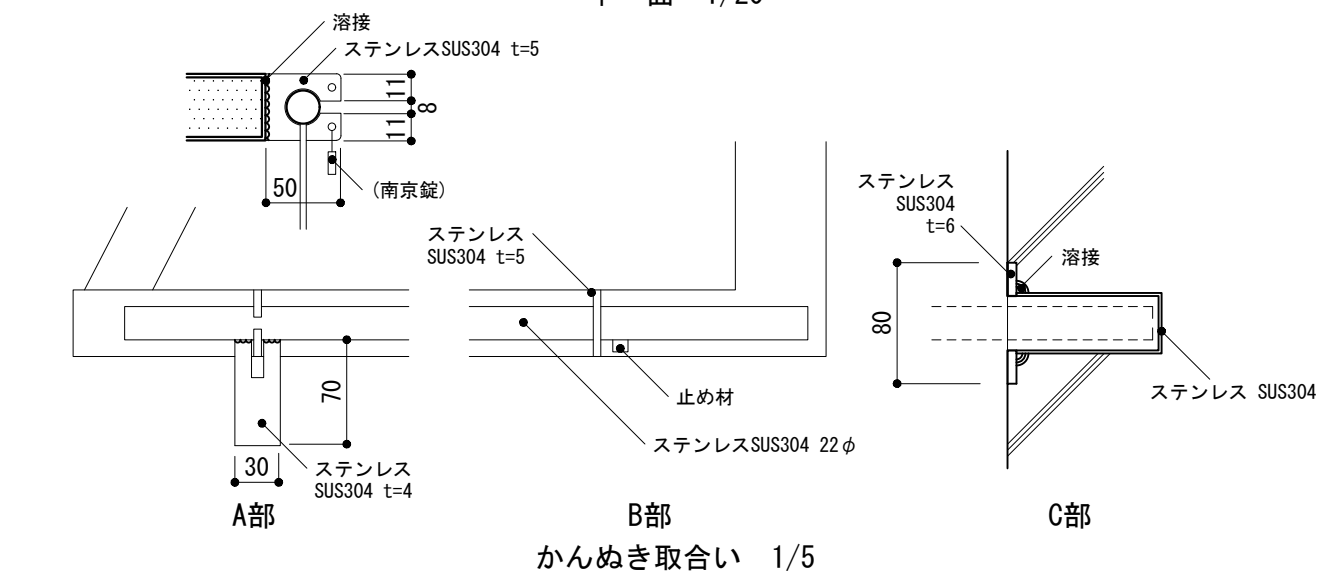
-1 引き戸



立面 1/20

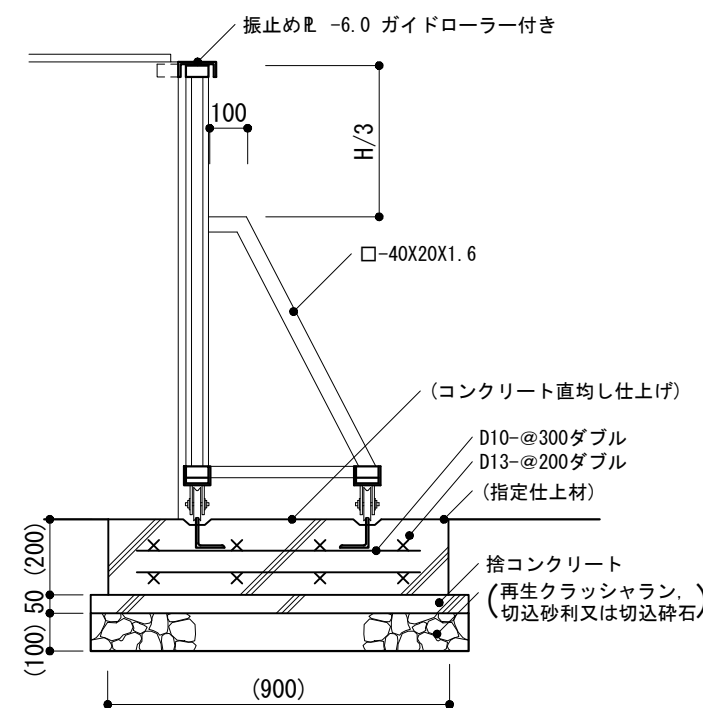


平面 1/20

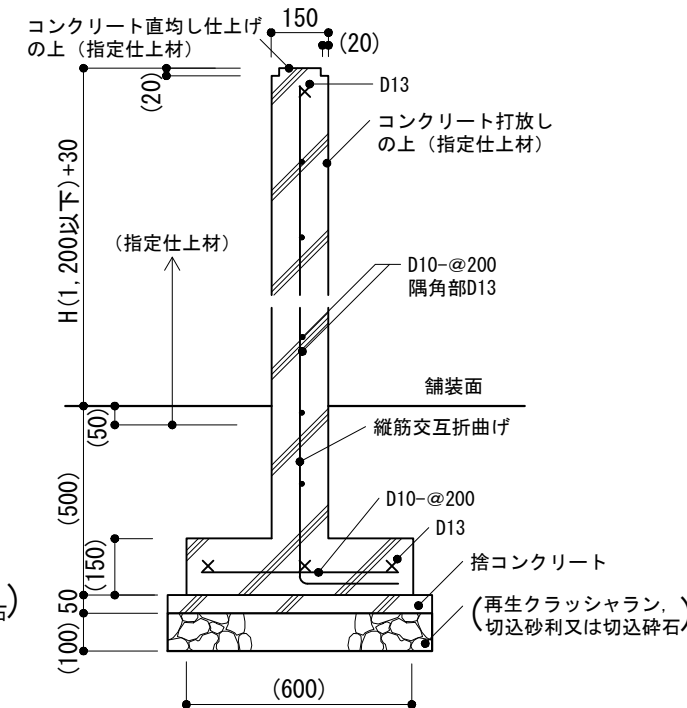


かんめき取合い 1/5

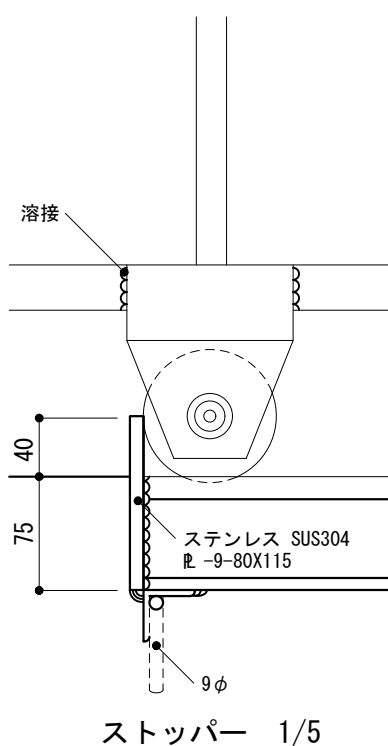
-2 門柱



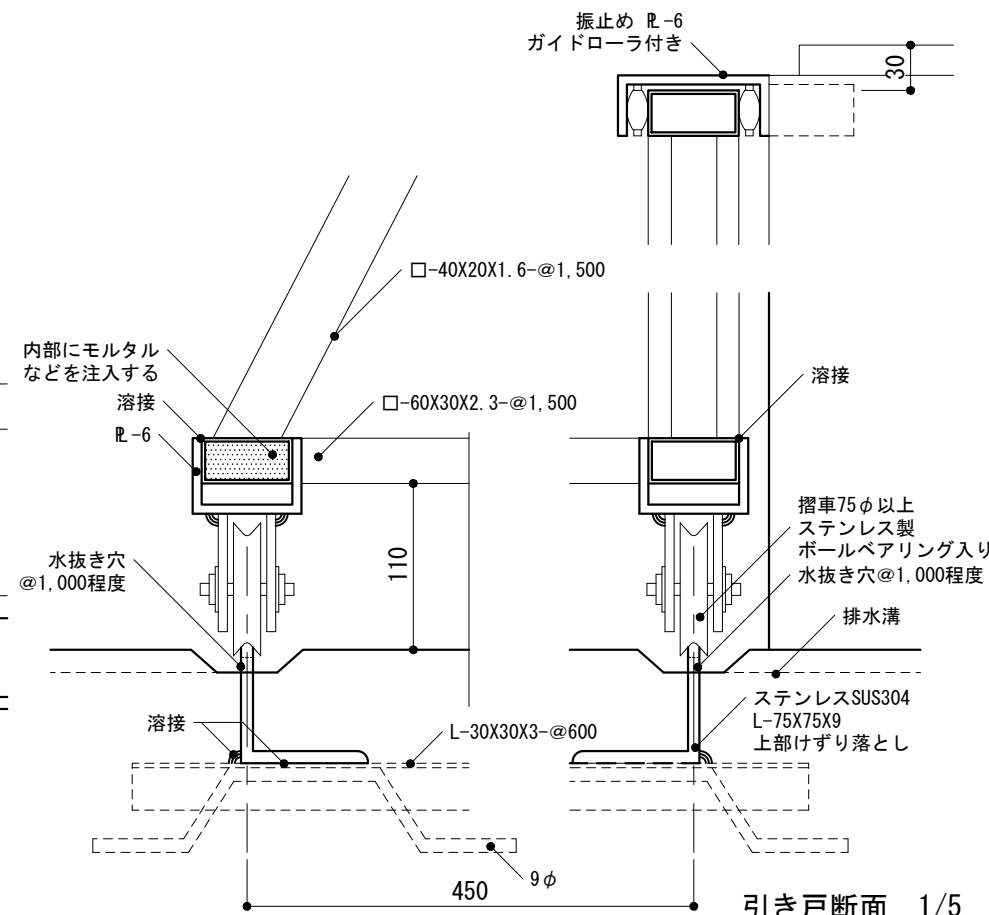
引き戸及び基礎断面 1/20



断面 1/20



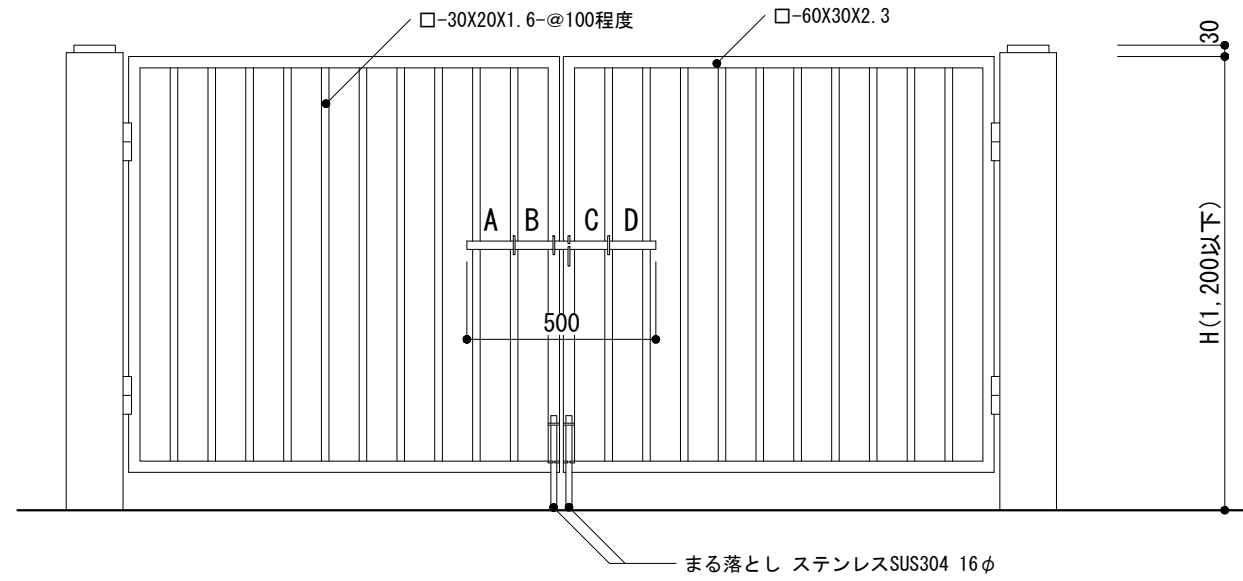
ストッパー 1/5



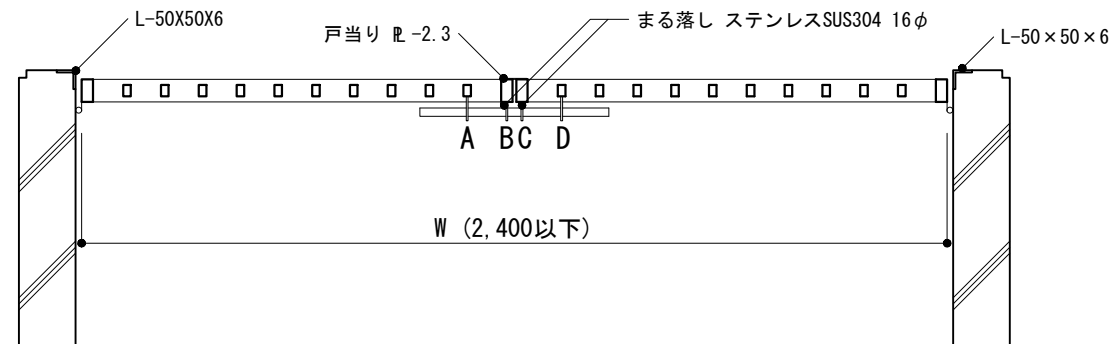
引き戸断面 1/5

<p>仕様</p> <p>1) 見えがかり鉄面は, SOP塗りとする。</p> <p>2) Wが4,000mm以上の場合, 中央に戸車を増付けする。</p>	<p>特記事項</p> <p>1) H, W</p> <p>2) コンクリート打放しの種別</p> <p>3) 引き戸基礎の範囲</p> <p>4) 溶融亜鉛めっきをする場合, その種別</p> <p>5) 指定仕上材の種類</p>	図面名称	門 : 引き戸	
		縮尺	1/5, 1/20	
		建築工事標準詳細図 令和4年版		9-32

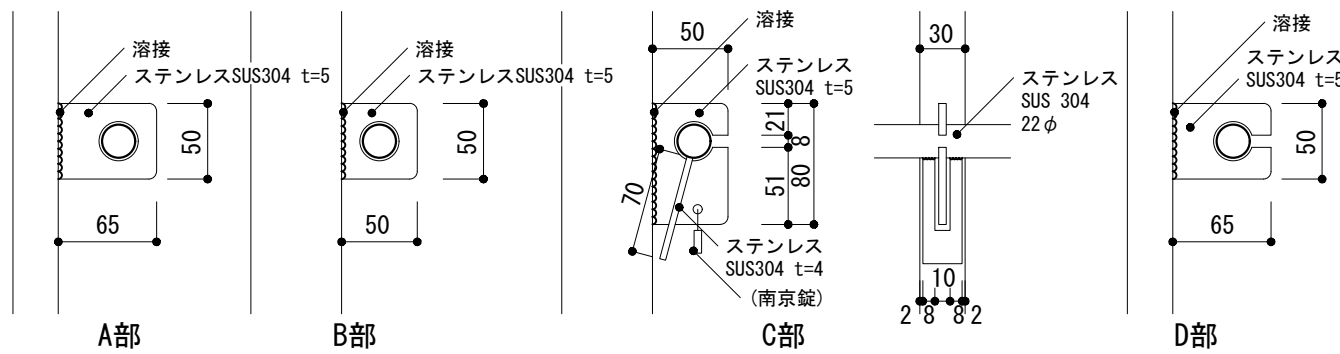
-1 両開き戸



立 面 1/20

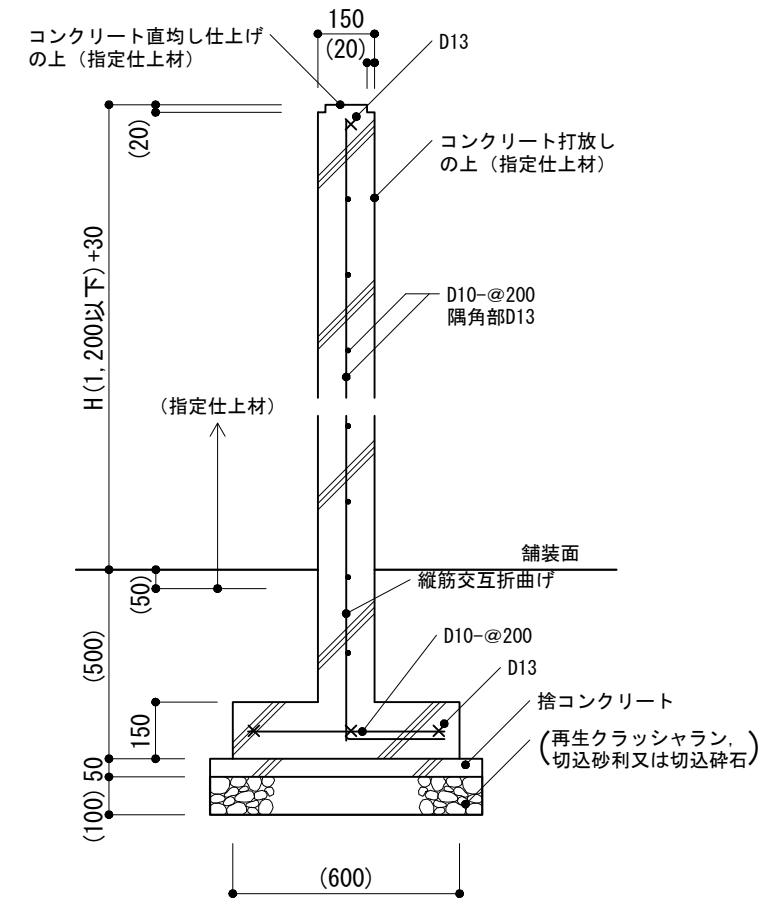


平 面 1/20

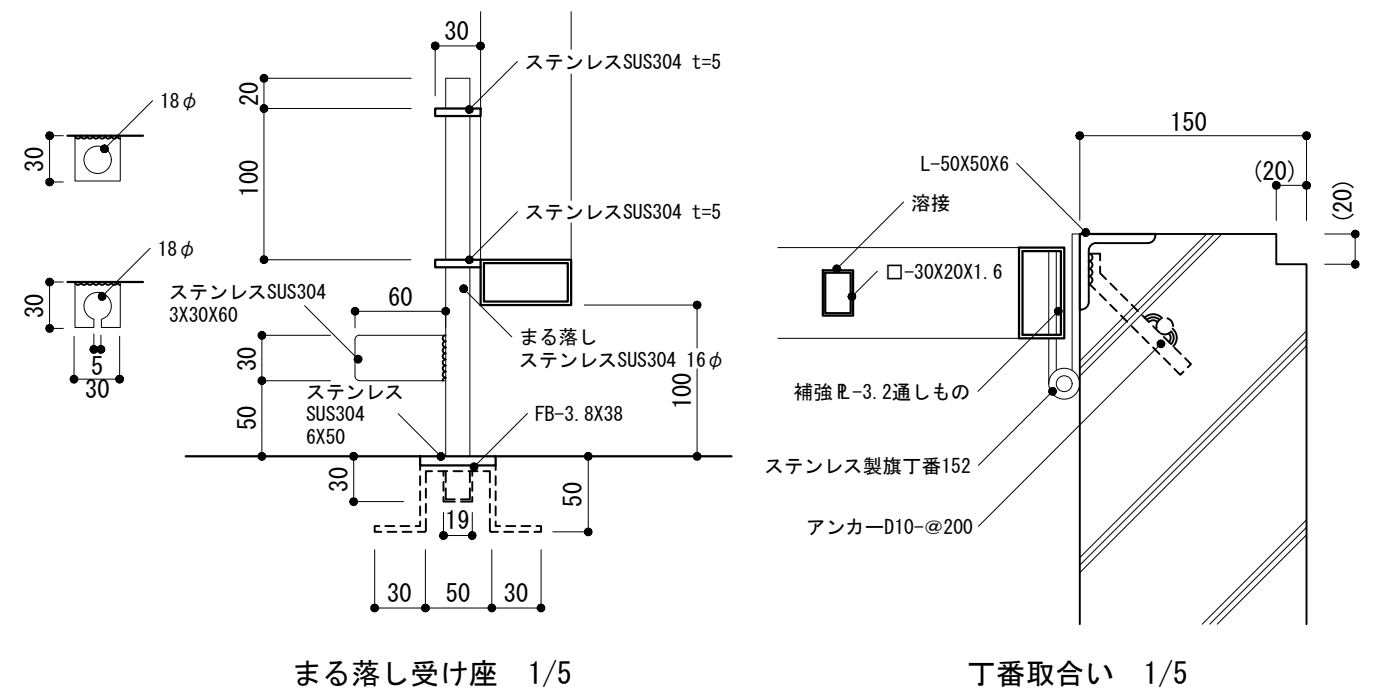


かんめき取合い 1/5

-2 門柱



断 面 1/20

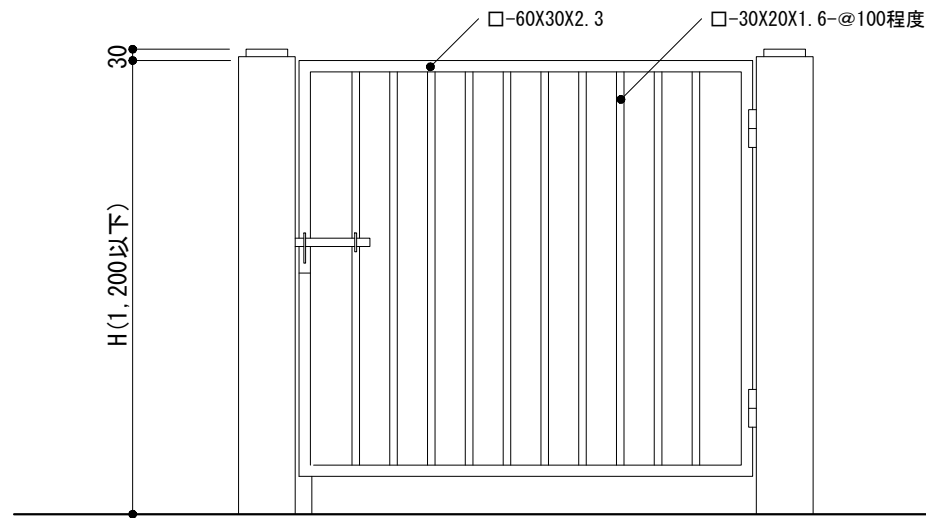


まる落とし受け座 1/5

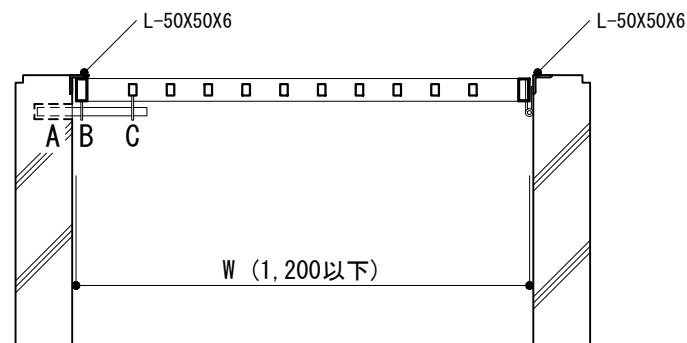
丁番取合い 1/5

<p>仕様</p> <p>1) 見えがかり鉄面は, SOP塗りとする。</p>	<p>特記事項</p> <p>1) H, W 2) コンクリート打放しの種別 3) 溶融亜鉛めっきをする場合, その種別 4) 指定仕上材の種類</p>	図面名称	門 : 両開き戸	
		縮 尺	1/5, 1/20	
		建築工事標準詳細図 令和4年版	9-33	

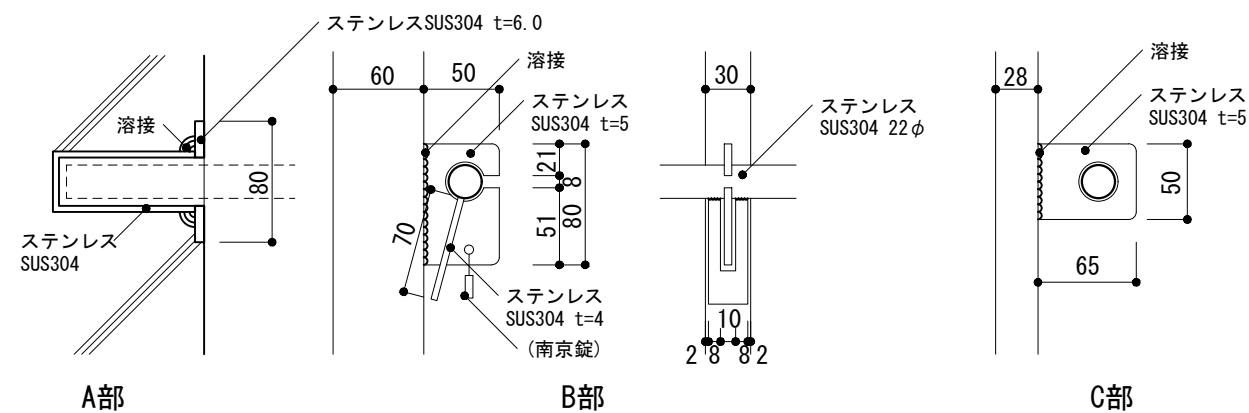
-1 片開き戸



立面 1/20

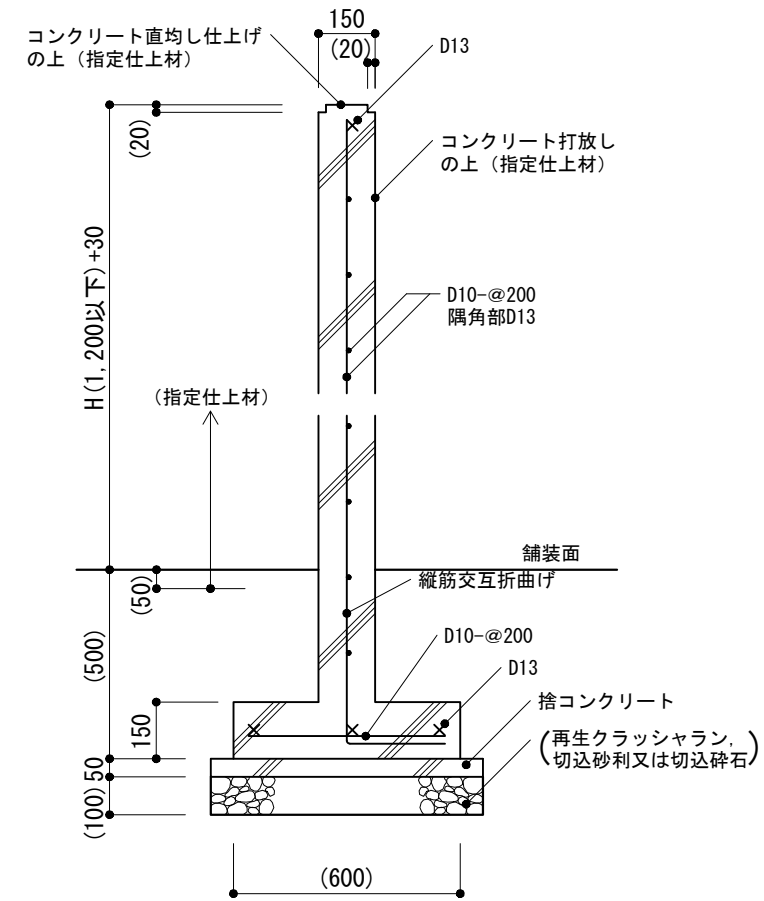


平面 1/20

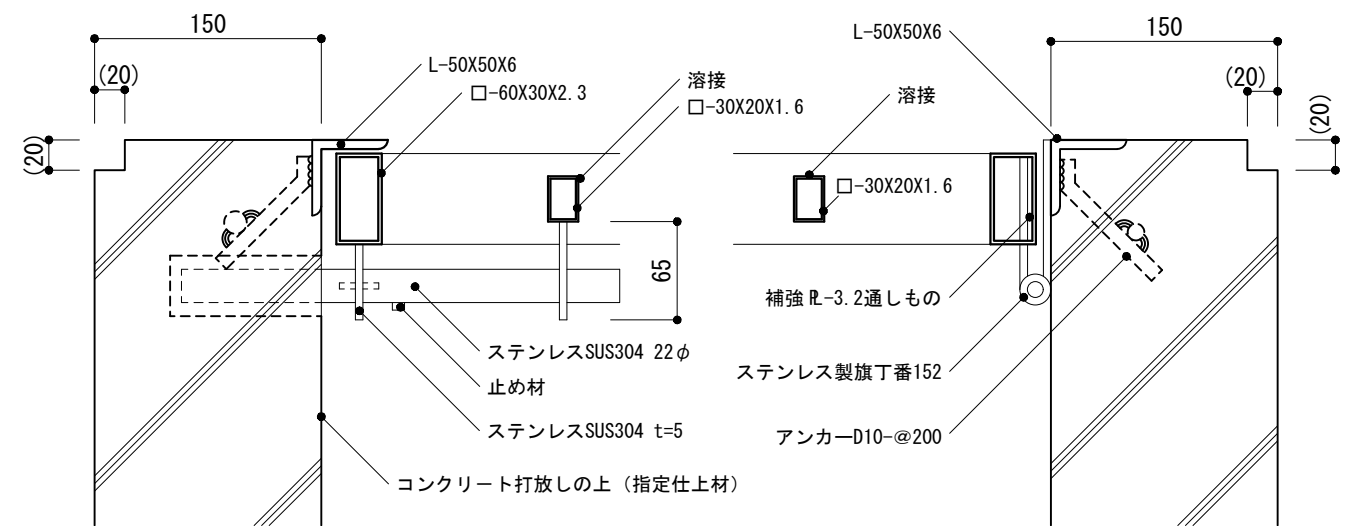


かんぬき取合い 1/5

-2 門柱



断面 1/20



戸当り部 1/5

丁番取合い 1/5

仕様

1) 見えがかり鉄面は, SOP塗りとする。

特記事項

- 1) H, W
- 2) コンクリート打放しの種別
- 3) 溶融亜鉛めっきをする場合, その種別
- 4) 指定仕上材の種類

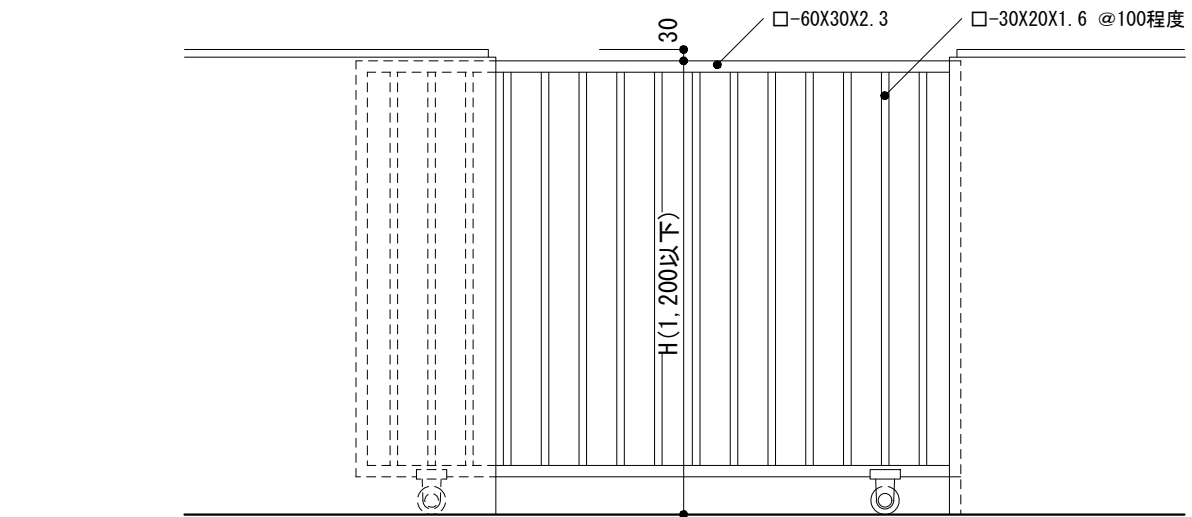
図面名称 門 : 片開き戸

縮尺 1/5, 1/20

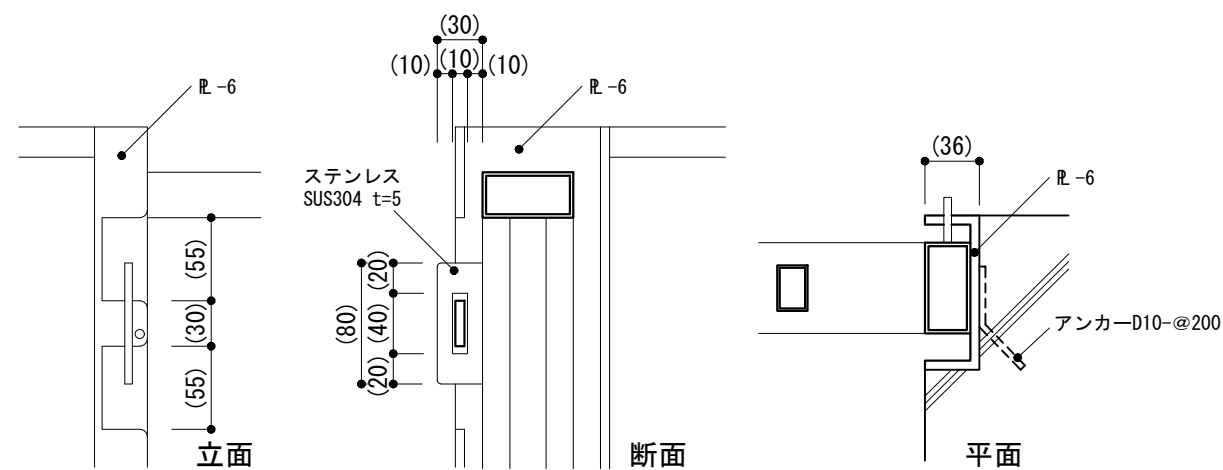
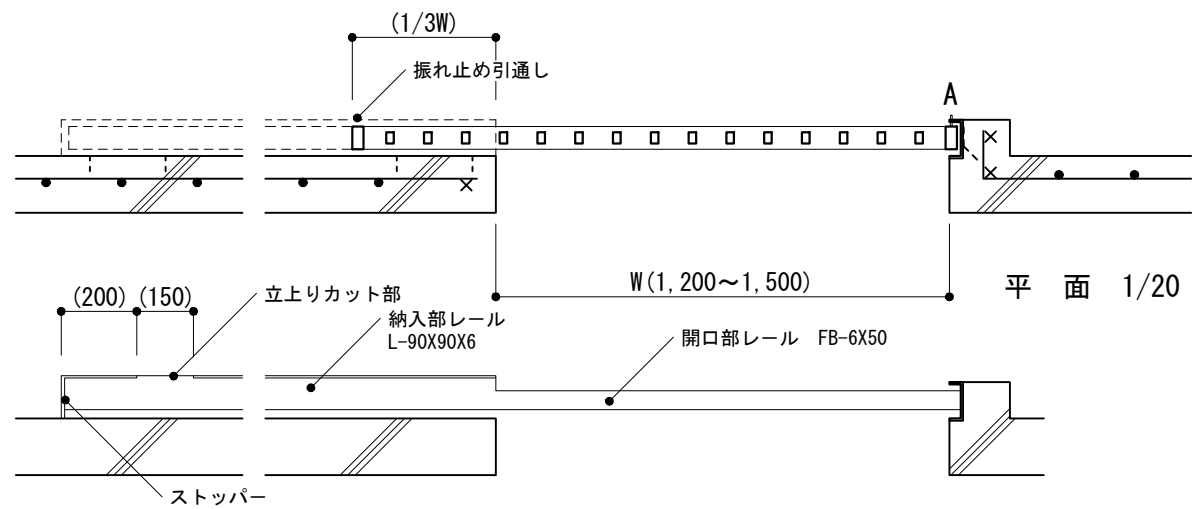
建築工事標準詳細図 令和4年版

9-34

-1 引き戸

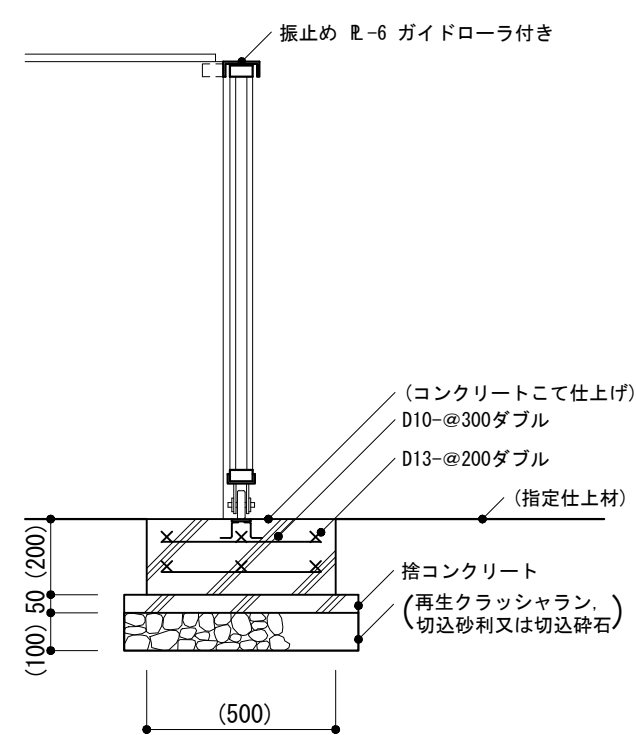


立面 1/20

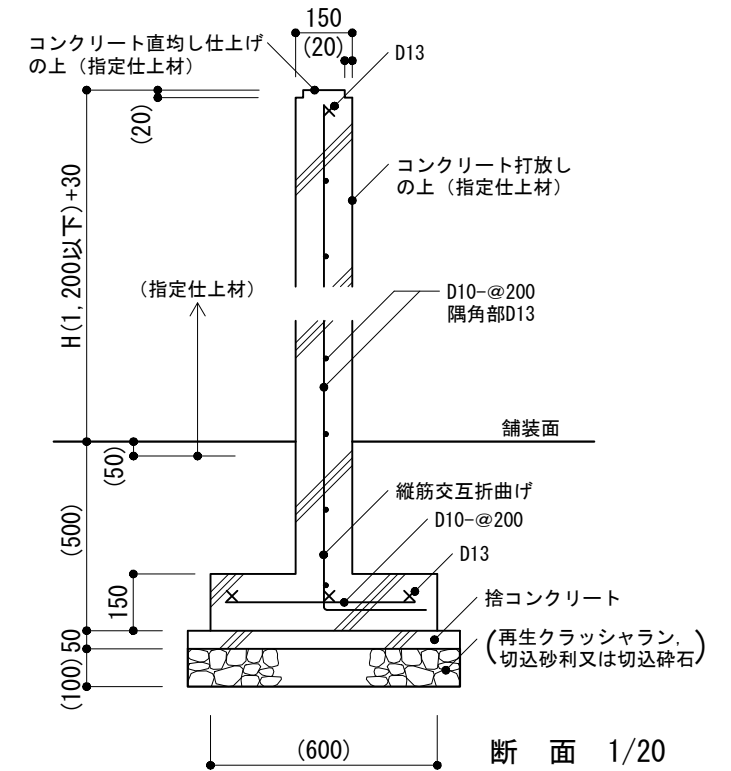


A部詳細 1/5

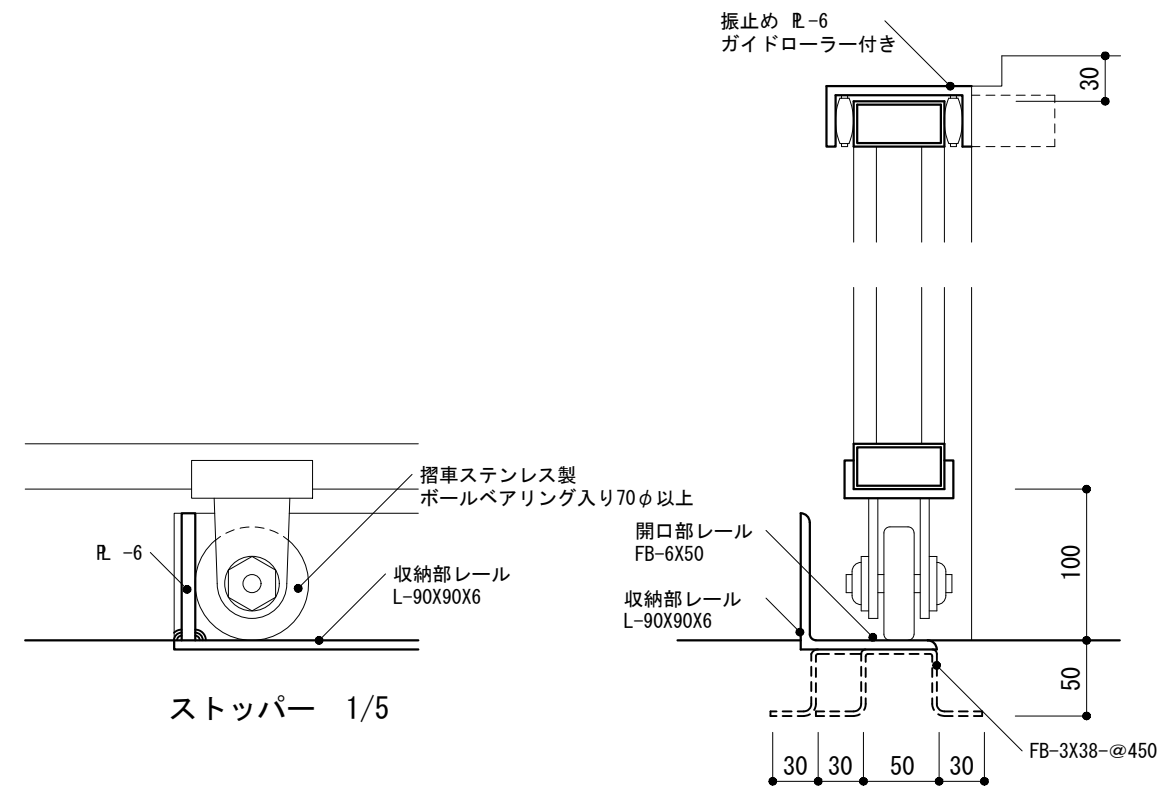
-2 門柱



引き戸及び基礎断面 1/20



断面 1/20



引き戸断面 1/5

仕様

1) 見えがかり鉄面は、SOP塗りとする。

特記事項

- 1) H, W
- 2) コンクリート打放しの種別
- 3) 溶融亜鉛めっきをする場合、その種別
- 4) 指定仕上材の種類

図面名称 門：引き戸

縮尺 1/5, 1/20

建築工事標準詳細図 令和4年版

9-35

